

# 業 績 集

2020年4月～2021年3月

2021年4月～2022年3月

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科  
先進治療科学専攻感覚器病学講座  
皮膚科学



# 業績集発刊にあたって

— 「正しく問うこと」を学ぶ —

昨年度末（令和三年）に京都大学を退任された永田和宏教授の最終講義の紹介記事が新聞に掲載された。永田教授は細胞生物学者としても歌人としても秀でた方である。生物学者としては若くして京都大学の教授に就任され、優れた論文を一流誌に数多く発表されている。歌人としては宮中歌会始の選者をお務めである。書籍も幾冊か上梓しておられ、二、三年前に氏の「知の体力」を読み大いに思考が活性化されたことを憶えている。その永田教授の最終講義がネットで閲覧できるとウェブページが紹介されている。早速視聴してみると教えられることばかりであった。

大学における教育と研究の基本は「正しく答えられることより、正しく問えること」に尽きる。高等学校までの初等・中等教育では生徒は学習する。学んで習う。これで問題に答える力は養われる。しかし大学では学習ではなく学問が求められる。学問とは学んで問うことであり、問いを見出すことが重要であると説く。永田教授は孔子の言葉、

「学びて思わざれば則ち罔し。思ひて学ばざれば則ち殆し」（論語「為政第二」）。を引用しつつ、問いを問いのまま抱え込んでいる時間が大切であり、安易に答えが出る問いは本当の問いではないと指摘される。

「論語」の解釈は難しい。作家の下村湖人に、孔子と弟子たちの問答を物語風に再構成した「論語物語」という著作がある。この中で「学びて思わざれば則ち罔し。思ひて学ばざれば則ち殆し」を次のように読み解いている。

「学問に大切なことは、学ぶことと考えることだ。学んだだけで考えないと、道理の中心が掴めない。だからいつも行き当たりばったりだ。丁度真暗な部屋で、柱をなでたり、戸をなでたりするようなもので、個々の事柄を全体の中に統一して見ることができないのだ。むろん考えたばかりで学ばないのもいけない。自分の主観だけに捉われて、先人の教えを無視するのは、丁度一本橋を渡るように危ないことだ。向うまで行きつかないうちに、いつ水の中に落ち込むか知れたものではない。」

更に続く。「吾嘗て終日食わず、終夜寝ねず、以て思う。益なし。学ぶに如かざるなりと」（論語「衛霊公篇」）。

「事柄によっては、いくら考えても何の役にも立たない事さえあるのだ。いつだったか、私は、食うことも寝ることも忘れて一昼夜も考え込んだことがあるが、何一つ得るところがなかった。そんな時、古聖人の残された言葉に接すると、一遍に道理がわかるのだ。とにかくどちらも軽んじてはいけない。学びつつ考え、考えつつ学ぶ、これが学問の要諦だ。」

医学徒こそ学びつつ考え、考えつつ学ぶ姿勢が求められる。それが疎かになってはいまいか。症例に向き合うのも良い。研究に打ち込むのも良い。自ら問いを見い出してじっくり思考する時間を大切にしたい。その結果を論文として発表する。大学で学ぶ者の特権である。

2022年3月  
金蔵拓郎

# 目 次

内容

業績集発刊にあたって ..... 1

業績

2020（R2）年4月～2021（R2）年3月

I. 著 書.....	6
II. 総 説.....	7
III. 原 著.....	8
IV. その他.....	10
V. 学会発表.....	11
VI. 社会への貢献（マスメディア等）.....	17
VII. 学会・講演会などの開催.....	18
VIII. 学会活動.....	19
IX. Journal Review.....	21
X. 学内活動.....	21
XI. 学生講義.....	22
XII. 社会活動.....	24
XIII. 文部省科学省科学研究費等取得.....	25
XIV. 特 許.....	25
XV. 受 賞.....	25
XVI. 学位取得者.....	25
XVII. 専門医取得者.....	25
XVIII. 教室員の動向.....	26

2021 (R2) 年4月～2022 (R3) 年3月

I. 著 書 .....	31
II. 総 説 .....	32
III. 原 著 .....	33
IV. その他 .....	36
V. 学会発表 .....	37
VI. 社会への貢献（マスメディア等） .....	49
VII. 学会・講演会などの開催 .....	50
VIII. 学会活動 .....	51
IX. Journal Review .....	53
X. 学内活動 .....	53
XI. 学生講義 .....	54
XII. 社会活動 .....	56
XIII. 文部省科学省科学研究費等取得 .....	57
XIV. 特 許 .....	57
XV. 受 賞 .....	57
XVI. 学位取得者 .....	57
XVII. 専門医取得者 .....	57
XVIII. 教室員の動向 .....	58

**2020 (R2) 年 4 月～2021 (R2) 年 3 月**



# I. 著 書

## 【欧文著書】

ナ シ

## 【和文著書】

- 1) 有床診療所における 26 年間の熱傷統計  
馬場國昭、徳田リツ子、馬場淳徳  
熱傷 46 (1) : 21-32 (2020)
- 2) 【最近のトピックス 2020 Clinical Dermatology 2020】皮膚疾患治療のポイント  
乾癬性関節炎の治療 顆粒球単球吸着除去療法(解説/特集)  
金蔵拓郎  
臨床皮膚科 74 (5) : 129-132 (2020. 4)
- 3) 膿疱性乾癬の治療  
金蔵拓郎  
皮膚科ベストセレクション 乾癬・掌蹠膿疱症 病態の理解と治療の最前線:  
306-311 (2020.09)
- 4) 皮膚悪性リンパ腫  
河井一浩  
今日の治療指針 2021 年版 : 1324-1325 (2021. 1)
- 5) NK 細胞増殖症  
河井一浩  
皮膚疾患最新の治療 2021-2022 : 262-263 (2021. 3)
- 6) 滴状類乾癬  
金蔵拓郎  
皮膚疾患最新の治療 2021-2022 : 165 (2021. 3)



## Ⅱ. 総 説

### 【欧文総説】

- 1) Adsorptive granulocyte and monocyte apheresis: A potentially relevant therapeutic option for COVID-19.  
Kanekura T, Kawahara K.  
Int J Infect Dis 99:1-2 (2020.10)

### 【和文総説】

- 1) 【"中毒疹"診断のロジックと治療】悪性リンパ腫でみられる中毒疹様皮疹(解説/特集)  
藤井一恭  
Derma. 296 : 41-47 (2020.05)

### Ⅲ. 原 著

#### 【欧文原著】

- 1) The aim of the measurement of Epstein-Barr virus DNA in hydroa vacciniiforme and hypersensitivity to mosquito bites.  
Miyake T, Iwatsuki K, Hirai Y, Yamamoto T, Hamada T, Fujii K, Imamura H, Morizane S.  
J. Med. Virol. 92: 3689–3696 (2020. 4)
- 2) Anagrelide with low-dose aspirin promptly epithelized ulceronecrotic lesion secondary to essential thrombocythemia.  
Arimura A, Fujii K, Hayashida M, Higashi Y, Hashiguchi T, Kanekura T.  
J. Dermatol. 47(5): e206-e207 (2020.5)
- 3) High concentration of glucose induces filaggrin-1 expression through AP-1 in skin keratinocytes.  
Furukawa M, Yamada K, Kurosawa M, Shikama Y, Wang J, Watanabe M, Kanekura T, Matsushita K.  
J. Dermatol. Sci. 98(2): 137-140 (2020.5)
- 4) Epstein-Barr virus-positive mucocutaneous ulcer in a patient with untreated chronic lymphocytic leukemia and hypogammaglobulinemia.  
Inatsu E, Fujii K, Hatanaka M, Okubo A, Uchida Y, Higashi Y, Hiraki T, Tanimoto A, Kanekura T.  
J. Dermatol. 47(5): e204-e206 (2020.5)
- 5) Type I hypersensitivity elicited by an electrolytic solution containing 5% maltose.  
Hisadome M, Higashi Y, Yonekura K, Kawai K, Kanekura T.  
J. Cutan. Immunol. Allergy. 3: 128–129 (2020.7)
- 6) Septic vasculitis induces cutaneous involvement of adult T-cell leukemia/lymphoma.  
Arimura A, Fujii K, Uchida Y, Higashi Y, Arima N, Yoshimitsu M, Ishitsuka K, Kanekura T.  
Int. J. Dermatol. 59(8): e298-e300 (2020.8)
- 7) Doxycycline as an initial treatment of bullous pemphigoid in Japanese patients.  
Kimura K, Kawai K.  
J. Cutan. Immunol. Allergy. 3: 80–85 (2020.8)
- 8) Glycometabolic Regulation of the Biogenesis of Small Extracellular Vesicles.  
Harada Y, Nakajima K, Suzuki T, Fukushige T, Kondo K, Seino J, Ohkawa Y, Suzuki T, Inoue H, Kanekura T, Dohmae N, Taniguchi N, Maruyama I.  
Cell Rep. 33(2): 108261 (2020.10)
- 9) Pro-inflammatory V $\delta$ 1<sup>+</sup> T-cells infiltrates are present in and around the hair bulbs of non-lesional and lesional alopecia areata hair follicles.  
Uchida Y, Gherardini J, Schulte-Mecklenbeck A, Alam M, Chéret J, Rossi A, Kanekura T, Gross CC, Arakawa A, Gilhar A, Bertolini M, Paus R.  
J. Dermatol. Sci. 100(2): 129-138 (2020. 11)
- 10) Aryl hydrocarbon receptor signaling activation in systemic sclerosis attenuates collagen production and is a potential antifibrotic target.  
Shi Y, Tang B, Yu J, Luo Y, Xiao Y, Pi Z, Tang R, Wang Y, Kanekura T, Zeng Z, Xiao R.  
Int. Immunopharmacol. 88: 106886 (2020.11)
- 11) Outlines of the Japanese guidelines for the management of primary cutaneous lymphomas 2020.  
Ohtsuka M, Hamada T, Miyagaki T, Shimauchi T, Yonekura K, Kiyohara E, Fujita H, Izutsu K,

Okuma K, Kawai K, Koga H, Sugaya M.  
J. Dermatol. 48: e49-e71 (2021.2)

- 12) Auto-antibody profile and clinical presentation of Vietnamese with systemic sclerosis  
Do H TT, Nguyen TNT, Le D H, Kanekura T.  
Australas. J. Dermatol. 62(2): e301-e303 (2021.3)
- 13) Primary cutaneous CD4<sup>+</sup> small/medium T-cell lymphoproliferative disorder with high Ki-67 proliferation index.  
Takei I, Kawai K, Nakajima M, Ansai O, Anan T.  
J. Dermatol. 48(5): e212-e214 (2021.3)
- 14) Effect of green propolis extracts on experimental aged gingival irritation in vivo and in vitro.  
Furukawa M, Wang J, Kurosawa M, Ogiso N, Shikama Y, Kanekura T, Matsushita K.  
J. Oral Biosci. 63(1): 58-65 (2021.3)
- 15) Kinome profiling analysis identified Src pathway as a novel therapeutic target in combination with histone deacetylase inhibitors for cutaneous T-cell lymphoma  
Jimura N, Fujii K, Qiao Z, Tsuchiya R, Yoshimats Y, KondT, Kanekura T.  
J. Dermatol. Sci. 101(3):194-201 (2021.3)

#### 【和文原著】

- 1) 【これだけは知っておきたい間葉系腫瘍】小児の足趾に生じた石灰化腱膜線維腫  
松岡温子、東 裕子、馬場直子、金蔵拓郎  
皮膚病診療 42 (5) : 398-401 (2020.05)

## IV. その他

ナ シ

## V. 学会発表

### 【国際・特別（招請）講演】

ナ シ

### 【国際・一般講演】

ナ シ

### 【国際・教育講演】

ナ シ

### 【国際・シンポジウム】

ナ シ

### 【国際・ワークショップ】

ナ シ

### 【国際・セミナー】

ナ シ

### 【国際・一般演題】

ナ シ

### 【国際・その他】

ナ シ

**【国内・特別（招請）講演】**

ナ シ

**【国内・一般講演】**

ナ シ

**【国内・教育講演】**

- 1) 鹿児島大学における悪性黒色腫の治療の現状-  
藤井一恭（鹿児島大学皮膚科）  
小野薬品社内研修会  
2020年6月5日 鹿児島
- 2) How I write a rebuttal letter  
河井一浩（木戸病院皮膚科）  
新潟大学皮膚科カンファレンス  
2020年9月19日 新潟（Web開催）
- 3) 皮膚リンパ腫の診かた・考え方  
河井一浩（木戸病院皮膚科）  
第25回なにわ皮膚腫瘍勉強会  
2020年11月13日 （Web開催）
- 4) 即時型アレルギーあれこれ  
久留光博（鹿児島大学皮膚科）  
第9回鹿児島アレルギー講習会 アレルギーの克服に向けて  
2021年2月13日 鹿児島（Web開催）
- 5) 乾癬バイオ治療の実際 クリニックでのバイオ治療を考える  
東 裕子（鹿児島大学皮膚科）  
始良霧島乾癬勉強会  
2021年2月24日 鹿児島

**【国内・シンポジウム】**

ナ シ

**【国内・ワークショップ】**

ナ シ

**【国内・セミナー】**

- 1) 〈ランチョンセミナー〉皮膚T細胞リンパ腫・炎症性皮膚疾患との鑑別と治療  
藤井一恭（鹿児島大学皮膚科）  
第71回日本皮膚科学会中部支部学術大会  
2020年10月10～11日 岐阜（Web開催）

## 【国内・一般演題】

- 1) セクキヌマブで皮膚硬化の改善がみられた乾癬に合併した強皮症の一例  
勝江浩未、東 裕子、上塘葉子、畠中美帆、馬場直子、金蔵拓郎  
(鹿児島大学皮膚科)  
第 119 回日本皮膚科学会総会・学術大会  
2020 年 6 月 4~7 日 東京 (Web 開催)
- 2) 眼皮膚白皮症の 4  
有村亜希子<sup>1</sup>、馬場直子<sup>1</sup>、指宿敦子<sup>1</sup>、藤井一恭<sup>1</sup>、東 裕子<sup>1</sup>、西川拓朗<sup>2</sup>、岡村 賢<sup>3</sup>、  
斎藤 亨<sup>3</sup>、鈴木民夫<sup>3</sup>、金蔵拓郎<sup>1</sup> (<sup>1</sup>鹿児島大学皮膚科、<sup>2</sup>同小児科、<sup>3</sup>山形大学皮膚科)  
第 119 回日本皮膚科学会総会・学術大会  
2020 年 6 月 4~ 7 日 東京 (Web 開催)
- 3) 生物学的製剤が著効した小児の角層下膿疱症の 1 例  
多田浩一、東 裕子、金蔵拓郎 (鹿児島大学皮膚科)  
第 35 回日本乾癬学会学術大会  
2020 年 9 月 12~13 日 福島 (Web 開催)
- 4) Ki-67 陽性率が高値を示した primary cutaneous CD4+ small/medium T-cell lymphoproliferative disorder.  
武居いづみ、河井一浩、中嶋万実、安斎 理 (木戸病院皮膚科)  
日本皮膚科学会新潟地方会第 399 回例会  
2020 年 9 月 13 日 新潟 (Web 開催)
- 5) 筋層まで達した膿瘍性穿掘性頭部毛包周囲炎の 2 例  
宮内一成、有村亜希子、畠中美帆、馬場直子、指宿敦子、東 裕子、金蔵拓郎  
(鹿児島大学皮膚科)  
第 72 回日本皮膚科学会西部支部学術大会  
2020 年 10 月 24~25 日 愛媛 (Web 開催)
- 6) ペムブロリズマブによる irAE と考えられた表皮増殖性の皮膚炎を呈した 1 例  
本田遼馬、久留光博、東 裕子、藤井一恭、金蔵拓郎 (鹿児島大学皮膚科)  
第 72 回日本皮膚科学会西部支部学術大会  
2020 年 10 月 24~25 日 愛媛 (Web 開催)
- 7) 頭部に発生した chronic expanding hematoma の 1 例  
野元裕輔<sup>1</sup>、藤井一恭<sup>1</sup>、山筋好子<sup>1</sup>、馬場直子<sup>1</sup>、指宿敦子<sup>1</sup>、多田浩一<sup>1</sup>、内田洋平<sup>1</sup>、  
東 裕子<sup>1</sup>、有村亜希子<sup>2</sup>、金蔵拓郎<sup>1</sup> (<sup>1</sup>鹿児島大学皮膚科、<sup>2</sup>鹿児島市)  
第 72 回日本皮膚科学会西部支部学術大会  
2020 年 10 月 24~25 日 愛媛 (Web 開催)
- 8) Acquired smooth muscle hyperplasia (ASMH) の 1 例  
川平尚生<sup>1</sup>、大久保葵<sup>1</sup>、有村亜希子<sup>1</sup>、畠中美帆<sup>1</sup>、多田浩一<sup>1</sup>、藤井一恭<sup>1</sup>、東 裕子<sup>1</sup>、  
金蔵拓郎<sup>1</sup>、米澤智一<sup>2</sup>、大迫洋一<sup>2</sup> (<sup>1</sup>鹿児島大学皮膚科、<sup>2</sup>同泌尿器科)  
第 72 回日本皮膚科学会西部支部学術大会  
2020 年 10 月 24~25 日 愛媛 (Web 開催)
- 9) 有孔網状オープンセルフフォームを使用した局所陰圧洗浄療法を併用したオトガイ部褥瘡治療の 1 例  
上塘葉子、武田浩一郎、玉井真理子、佐藤浩子、米倉健太郎 (今村総合病院皮膚科)

第 72 回日本皮膚科学会西部支部学術大会

2020 年 10 月 24～25 日 愛媛 (Web 開催)

- 10) CD147/Basigin regulates Th17 cell differentiation and contributes to the pathogenesis of psoriasis  
Okubo A<sup>1</sup>, Uchida Y<sup>1</sup>, Higashi Y<sup>1</sup>, Ryuge A<sup>2</sup>, Kadomatsu K<sup>2</sup>, Kanekura T<sup>1</sup> (<sup>1</sup>Department of Dermatology, Kagoshima University, <sup>2</sup>Department of Biochemistry, Nagoya University)  
第 34 回表皮細胞研究会  
2020 年 10 月 31 日 東京
- 11) 結膜炎、強膜炎を合併した尋常性天疱瘡の 1 例  
本田遼馬、久留光博、東 裕子、藤井一恭、金蔵拓郎 (鹿児島大学皮膚科)  
第 395 回日本皮膚科学会福岡地方会  
2020 年 11 月 23 日 福岡 (Web 開催)
- 12) 好酸球増多、および非定型疹を呈した成人 Still 病の 1 例  
本田遼馬<sup>1</sup>、久留光博<sup>1</sup>、馬場直子<sup>1</sup>、指宿敦子<sup>1</sup>、藤井一恭<sup>1</sup>、東 裕子<sup>1</sup>、竹 夏樹<sup>2</sup>、  
金蔵拓郎<sup>1</sup> (<sup>1</sup>鹿児島大学皮膚科、<sup>2</sup>鹿児島市)  
第 186 回日本皮膚科学会鹿児島地方会  
2020 年 12 月 6 日 鹿児島 (Web 開催)
- 13) 繰り返す紅斑、びらんから分類不能型免疫不全症の診断に至った 1 例  
畠中美帆<sup>1</sup>、有村亜希子<sup>1</sup>、藤井一恭<sup>1</sup>、東 裕子<sup>1</sup>、濱田 洋<sup>2</sup>、金蔵拓郎<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>鹿児島大学皮膚科、<sup>2</sup>霧島市)  
第 186 回日本皮膚科学会鹿児島地方会  
2020 年 12 月 6 日 鹿児島 (Web 開催)
- 14) 超音波検査が診断に有用であった rubber band syndrome の 1 例  
上塘葉子、武田浩一郎、玉井真理子、佐藤浩子、米倉健太郎 (今村総合病院皮膚科)  
第 186 回日本皮膚科学会鹿児島地方会  
2020 年 12 月 6 日 鹿児島 (Web 開催)
- 15) 足底に生じたグロムス腫瘍の 1 例  
宮内一成、本田遼馬、野元裕輔、畠中美帆、馬場直子、指宿敦子、多田浩一、藤井一恭、  
金蔵拓郎 (鹿児島大学皮膚科)  
第 186 回日本皮膚科学会鹿児島地方会  
2020 年 12 月 6 日 鹿児島 (Web 開催)
- 16) Interstitial type granuloma annulare の 4 例  
川平尚生、多田浩一、宮内一成、野元裕輔、指宿敦子、藤井一恭、東 裕子、金蔵拓郎  
(鹿児島大学皮膚科)  
第 186 回日本皮膚科学会鹿児島地方会  
2020 年 12 月 6 日 鹿児島 (Web 開催)
- 17) Episodic angioedema with eosinophilia の 1 例  
山筋好子<sup>1</sup>、宮内一成<sup>1</sup>、久留光博<sup>1</sup>、馬場直子<sup>1</sup>、指宿敦子<sup>1</sup>、多田浩一<sup>1</sup>、藤井一恭<sup>1</sup>、  
東 裕子<sup>1</sup>、吉福明日香<sup>2</sup>、金蔵拓郎<sup>1</sup> (<sup>1</sup>鹿児島大学皮膚科、<sup>2</sup>鹿児島市)  
第 186 回日本皮膚科学会鹿児島地方会  
2020 年 12 月 6 日 鹿児島 (Web 開催)
- 18) 〈研究演題〉CARD11 機能喪失型点変異マウスにおけるアトピー性疾患の発症機構解析  
野元裕輔<sup>1</sup>、安川晋輔<sup>2</sup>、古江増隆<sup>2</sup>、金蔵拓郎<sup>1</sup>、原 博満<sup>3</sup>



(<sup>1</sup>鹿児島大学皮膚科、<sup>2</sup>九州大学皮膚科、<sup>3</sup>鹿児島大学免疫学)  
第186回日本皮膚科学会鹿児島地方会

2020年12月6日 鹿児島 (Web開催)

19) 鹿児島市立病院での産業医活動

馬場淳徳 (鹿児島市立病院皮膚科)

第186回日本皮膚科学会鹿児島地方会

2020年12月6日 鹿児島 (Web開催)

20) CD147/Basigin regulates Th17 cell differentiation and contributes to the pathogenesis of psoriasis.

Okubo A<sup>1</sup>, Uchida Y<sup>1</sup>, Higashi Y<sup>1</sup>, Ryuge A<sup>2</sup>, Kadomatsu K<sup>2</sup>, Kanekura T<sup>1</sup>.

(<sup>1</sup>Department of Dermatology, Kagoshima University, <sup>2</sup>Department of Biochemistry, Nagoya University)

日本研究皮膚科学会第46回年次学術大会・総会

2020年12月3～5日 京都 (Web開催)

21) アセトアミノフェンによるアナフィラキシーの1例

山筋好子、山田きよ子、馬場直子、指宿敦子、内田洋平、多田浩一、藤井一恭、東 裕子、金蔵拓郎 (鹿児島大学皮膚科)

第50回日本皮膚免疫アレルギー学会総会学術大会

2020年12月22～24日 高知

22) 皮膚リンパ腫 全国症例数調査の結果 (2019年版)

藤井一恭<sup>1,6</sup>、島内隆寿<sup>2,6</sup>、浅井 純<sup>3,6</sup>、藤澤康弘<sup>4,6</sup>、尹 浩信<sup>5,6</sup>、加藤則人<sup>3,6</sup>

(<sup>1</sup>鹿児島大学皮膚科、<sup>2</sup>浜松医科大学、<sup>3</sup>京都府立医科大学、<sup>4</sup>筑波大学、<sup>5</sup>熊本大学、<sup>6</sup>日本皮膚悪性腫瘍学会皮膚がん予防統計委員会)

第36回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会

2021年1月8～9日 横浜 (Web開催)

23) 悪性黒色腫調査結果 (2019年報告)

藤澤康弘<sup>1,2</sup>、浅井 純<sup>2</sup>、島内隆寿<sup>2</sup>、藤井一恭<sup>2</sup>、加藤則人<sup>2</sup>、尹 浩信<sup>2</sup>

(<sup>1</sup>筑波大学皮膚科学、<sup>2</sup>日本皮膚悪性腫瘍学会皮膚がん予防統計委員会)

第36回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会

2021年1月8～9日 横浜 (Web開催)

24) 開復術後の瘻孔部に発症した基底細胞癌の1例

上塘葉子<sup>1</sup>、武田浩一郎<sup>1</sup>、玉井真理子<sup>1</sup>、佐藤浩子<sup>1</sup>、神崎 保<sup>1</sup>、米倉健太郎<sup>1</sup>、島田辰彦<sup>2</sup> (<sup>1</sup>今村総合病院皮膚科、<sup>2</sup>鹿児島市)

第36回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会

2021年1月8～9日 横浜 (Web開催)

25) 皮膚原発の古典的ホジキンリンパ腫の1例

野元裕輔<sup>1</sup>、勝江浩美<sup>1</sup>、山田きよ子<sup>1</sup>、畠中美帆<sup>1</sup>、馬場直子<sup>1</sup>、多田浩一<sup>1</sup>、内田洋平<sup>1</sup>、藤井一恭<sup>1</sup>、東 裕子<sup>1</sup>、中村大輔<sup>2</sup>、石塚賢治<sup>2</sup>、具志 亮<sup>3</sup>、金蔵拓郎<sup>1</sup>

(<sup>1</sup>鹿児島大学皮膚科、<sup>2</sup>同血液内科、<sup>3</sup>薩摩川内市)

第36回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会

2021年1月8～9日 横浜 (Web開催)

26) 左手背に発生した類上皮肉腫の1例

山田きよ子<sup>1</sup>、多田浩一<sup>1</sup>、有村亜希子<sup>1</sup>、馬場直子<sup>1</sup>、藤井一恭<sup>1</sup>、東 裕子<sup>1</sup>、

金蔵拓郎<sup>1</sup>、佐々木裕美<sup>2</sup>、谷口 昇<sup>2</sup>  
(<sup>1</sup>鹿児島大学皮膚科、<sup>2</sup>同整形外科)  
第36回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会

2021年1月8～9日 横浜 (Web開催)

27) アセトアミノフェンによるアナフィラキシーの1例

山筋好子、山田きよ子、馬場直子、指宿敦子、内田洋平、多田浩一、藤井一恭、  
東 裕子、金蔵拓郎 (鹿児島大学皮膚科)  
第3回日本アレルギー学会九州・沖縄地方会

2021年1月8～9日 (Web開催)

28) 壊疽性膿皮症患者に対する顆粒球吸着除去療法の治療効果

東 裕子、指宿敦子、馬場直子、多田浩一、藤井一恭、金蔵拓郎  
(鹿児島大学皮膚科)  
第295回日本皮膚科学会東海地方会

2021年3月21日 (Web開催)

【国内・その他】

1) 〈日本皮膚科学会キャリア支援委員会企画：メンター&メンティーの相談会 (M&M)〉  
「アンガーマネジメントを学んで、良好な人間関係や仕事のモチベーションアップに繋げよう」

市原麻子<sup>1</sup>、田中暁生<sup>2</sup>、中原真紀子<sup>3</sup>、東 裕子<sup>4</sup>

(<sup>1</sup>熊本地域医療センター皮膚科、<sup>2</sup>広島大学皮膚科、<sup>3</sup>九州大学皮膚科、  
<sup>4</sup>鹿児島大学皮膚科)

第72回日本皮膚科学会西部支部学術大会

2020年10月24日～10月25日 宮崎

2) 〈コメンテーター〉

「CPC:リンフォーマ」

河井一浩 (木戸病院皮膚科)

第36回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会

2021年1月8～9日 横浜 (Web開催)

## VI. 社会への貢献（マスメディア等）

### 【テレビ】

- 1) 「新型コロナウイルス感染症に対する有効な治療法の論文発表に関する記者発表」  
金蔵拓郎  
NHK, MBC, KTS, KKB で報道（2020年8月31日）
- 2) 「新型コロナウイルスに対する治療法」  
金蔵拓郎  
東京 MX テレビ メディカルニュースラインで放送（2020年10月23日）

### 【ラジオ】

ナ シ

### 【新聞】

- 1) 「新型コロナウイルス感染症に対する有効な治療法の論文発表に関する記者発表」  
金蔵拓郎  
南日本新聞、読売新聞、時事通信（オンライン）で報道（2020年9月1日掲載）

### 【その他のメディア】

- 1) 「新型コロナウイルスと治療法」  
金蔵拓郎  
ヘルシスト 河合香織インタビュー記事（2020年11月10日掲載）

## VII. 学会・講演会などの開催

### 【学 会】

- 1) 第 186 回日本皮膚科学会鹿児島地方会・総会  
TKP ガーデンシティ鹿児島中央 (Web 開催) 2020 年 12 月 6 日

### 【学術講演会】

- 1) 立石 千晴 (大阪市立大学大学院医学研究科医薬品・食品効能評価学皮膚病態学准教授)  
「現在の乾癬治療と連携について」  
(共催) 日本皮膚科学会鹿児島地方会・鳥居薬品株式会社・日本イーライリリー株式会社  
2020 年 12 月 6 日
- 2) 神人 正寿 (和歌山県立医科大学皮膚科学講座教授)  
「皮膚科医からみた SSc の病態と診断治療連携について」  
(共催) 日本皮膚科学会鹿児島地方会・日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社  
2020 年 12 月 6 日

## VIII. 学会活動

### <金蔵拓郎>

- ・ 日本研究皮膚科学会（理事）
- ・ 鹿児島膠原病研究会（世話人）
- ・ 日本皮膚科学会（雑誌委員・西部支部運営委員会・代議員・西部支部学術委員）
- ・ 米国研究皮膚科学会
- ・ 日本生化学会
- ・ 日本免疫学会
- ・ 日本癌学会
- ・ 日本アレルギー学会
- ・ 日本リウマチ学会
- ・ 日本形成外科学会九州地方会
- ・ 日本リンパ網内系学会
- ・ 日本熱傷学会九州地方会
- ・ 鹿児島異種移植研究会（世話人）
- ・ 日本乾癬学会（理事）
- ・ 日本アフェレシス学会（評議員）
- ・ 鹿児島アレルギー懇話会（世話人）
- ・ 皮膚脈管・膠原病研究会（世話人）
- ・ 南九州腫瘍研究会（世話人）
- ・ 日本皮膚悪性腫瘍学会（理事）
- ・ 鹿児島県性感染症研究会（世話人）
- ・ 鹿児島地区皮膚疾患病態治療研究会（代表世話人）
- ・ 鹿児島皮膚アレルギー研究会（代表世話人）
- ・ 鹿児島皮膚疾患の治療を語る会（代表世話人）
- ・ 鹿児島救急医学会（評議員）
- ・ The Open Dermatology Journal, Editorial Board Member
- ・ 第 10 回日中合同皮膚科学術会議組織委員
- ・ 表皮細胞研究会（監事）
- ・ 日本褥瘡学会九州地方会（世話人）
- ・ 日本皮膚アレルギー・接触皮膚炎学会（評議員）
- ・ Journal of Dermatological Science, Editorial Board
- ・ 日本皮膚科学会膿疱性乾癬診療ガイドライン改定委員会委員
- ・ 日本アフェレシス学会雑誌編集委員
- ・ 日本研究皮膚科学会推薦委員
- ・ 第 18 回国際ヒトレトロウイルス HTLV 会議組織委員
- ・ 第 42 回 JSID Abstract 査読

### <東 裕子>

- ・ キャリア支援委員会委員
- ・ 日本皮膚科学会西部支部（代議員）
- ・ 日本研究皮膚科学会（評議員・ダイバーシティ委員会委員）

<藤井一恭>

- 日本研究皮膚科学会（評議員）
- 九州真菌懇話会（施設幹事）
- 日本電気泳動学会（評議員）
- 皮膚悪性腫瘍学会（評議員・皮膚がん予後統計委員会委員）
- 日本癌治療学会・協力委員

<河井一浩>

- 日本皮膚科学会
- 日本研究皮膚科学会（評議員）
- 日本皮膚悪性腫瘍学会（評議員）
- 日本免疫学会
- The Society for Investigative Dermatology
- International Society for Cutaneous Lymphomas
- 日本臨床皮膚科医会
- The American Association of Immunologists
- 日本皮膚免疫アレルギー学会（代議員・監事）
- J.Dermatol. (Section Editor)

## IX. Journal Review

### <金蔵拓郎>

- Dermatol Ther. / Ther Apher Dial / Ageing Res Rev

### <東 裕子>

- J. Dermatol. (4 編) / CED / J. Dermatol

### <藤井一恭>

- J.Dermatol. (4 編) / Dermatologic. Ther. / Int J Dermatol. / 鹿児島大学医学雑誌 / J. Electrophoresis

### <河井一浩>

- J. Dermatol. (73 編) / 日皮会誌 (5 編) / J. Allergy Clin. Immunol. (4 編)

## X. 学内活動

### <金蔵拓郎>

- 医学部共同利用研究棟運営委員
- 教員の評価に関する制度検討委員会委員
- 研究フォーラム・インフォメーションオフィスメンバー
- セカンドオピニオン外来担当医
- 卒後臨床研修部研修管理委員会委員
- 感覚器センター長
- 学位審査委員 (主査・1 件、副査・1 件)
- 鹿児島大学における軍事的安全保障研究とみなされる可能性のある研究等に関する審査委員会医員

## XI. 学生講義

### <金蔵拓郎>

- ・【医学部】[膠原病の皮膚症状 (2020.4.23 : M4) ]
- ・【医学部】[炎症性皮膚疾患 (2020.7.30 : M3) ]
- ・【宮崎大学講義】[皮膚症状からみる膠原病 (2020.12.7 : M3) ]

### <東 裕子>

- ・【共通教育】[がんはなぜおこるのか (2020.5.14) ]
- ・【医学部】[総合講義：国試対策 (2020.5.21 : M5、6) ]
- ・【医学部】[水疱症、角化症 (2020.8.6 : M3) ]
- ・【医学部】[感染症 (2020.1.19 : M3) ]

### <藤井一恭>

- ・【医学部】[皮膚悪性腫瘍 (2020.7.30 : M3) ]
- ・【医学部】[皮膚の悪性リンパ腫 (2020.12.16 : M3) ]

### <内田洋平>

- ・【歯学部】[アレルギー疾患、皮膚テスト (2020.5.25 : M5) ]
- ・【歯学部】[試験監督 (2020.6.29 : M5) ]
- ・【医学部】[発疹学・検査 (2020.7.31 : M3) ]
- ・OSCE (2020.9.1)
- ・【医学部】[縫合実習 (2020.9.28 : M4) ]
- ・【医学部】[領域別試験 試験監督 (2020.9.30 : M6) ]
- ・OSCE (2020.10.6)
- ・【共通教育】[健康を守り、作る (2020.10.14) ]

### <多田浩一>

- ・【歯学部】[水疱症、ベーチェット病 (2020.7.30 : M5) ]
- ・【医学部】[母斑、母斑症、血管腫、皮膚良性腫瘍 (2020.7.30 : M3) ]
- ・OSCE (2020.9.1)
- ・【看護】[総論 (2020.11.10 : M2) ]

### <指宿敦子>

- ・【歯学部】[皮膚の構造・機能 先天性疾患 (2020.5.18 : M5) ]
- ・【医学部】[縫合実習 (2020.9.16 : M4) ]

### <島中美帆>

- ・【歯学部】[膠原病、感染症 (2020.6.15 : M5) ]
- ・【医学部】[皮膚の構造・機能 (2020.7.30 : M3) ]
- ・OSCE (2020.10.6)
- ・【看護】[各論(Ⅱ) (2020.12.1 : M2) ]



<馬場直子>

- ・【歯学部】[腫瘍性疾患（2020.6.22：M5）]
- ・OSCE（2020.9.1）
- ・【看護】[各論(Ⅰ)（2020.11.24：M2）]

<宮内一成>

- ・【鹿児島医療技術専門学校】[皮膚科全般 1/3（2020.6.10：M2）]
- ・【鹿児島医療技術専門学校】[皮膚科全般 2/3（2020.6.17：M2）]
- ・【鹿児島医療技術専門学校】[皮膚科全般 3/3（2020.6.24：M2）]
- ・【医学部】[感染症チュートリアル（2021.1.18：M4）]
- ・【医学部】[感染症チュートリアル（2021.1.25：M4）]

<本田遼馬>

- ・【野田女子高等学校】[成人看護学-皮膚（前半）（2020.7.2：M2）]
- ・【野田女子高等学校】[成人看護学-皮膚（後半）（2020.7.9：M2）]

<河井一浩>

- ・【医学部】[湿疹・皮膚炎（2020.7.30：M3）]

## XII. 社会活動

### <金蔵拓郎>

- ・ 鹿児島県感染症発生動向調査企画委員
- ・ 鹿児島県特定疾患認定委員
- ・ 最高裁判所専門委員
- ・ 鹿児島県 ATL 制圧委員会研究推進部会委員
- ・ 大阪地方裁判所損害賠償請求事件鑑定人
- ・ 本格焼酎部会会員
- ・ 焼酎発酵副産物研究会会員
- ・ 福岡地方裁判所平成 19 年（ワ）第 309 号 損害賠償請求事件専門委員
- ・ 鹿児島県医師会評議員
- ・ 財団法人親和会評議員
- ・ 鹿児島大学医学部創立 70 周年・西洋医学開講 150 周年記念事業実行委員長
- ・ 鹿児島大学医学部医師会理事
- ・ 鹿児島県アレルギー疾患医療連絡協議会委員
- ・ 日本医療安全調査機構「医療事故調査・支援センター推薦・担当者」

### XIII. 文部省科学省科学研究費等取得

- 1) 『CD147/basigin の Th 細胞分化と乾癬病態形成に関する包括的研究』  
金蔵拓郎（代表）基盤研究（C）：442 万円
- 2) 『遺伝子組換えシルクによる創傷治療』  
金蔵拓郎 共同研究
- 3) 『HDAC 阻害剤によるチロシンキナーゼの活性化と CTCL の新規治療への応用』  
藤井一恭（代表）基盤研究（C）：429 万円
- 4) 『円形脱毛症における AGEs（終末糖化産物）の毛包ストレス-T 細胞応答への寄与解明』  
内田洋平（代表）基盤研究（C）：429 万円
- 5) 『痒疹の発症における皮膚  $\gamma$   $\delta$  T 細胞の役割～2 型・17 型免疫応答の協働～』  
指宿敦子（代表）若手研究：429 万円
- 6) 『Carmal L815P-KI マウスにおける皮膚炎発症のメカニズムの解明』  
野元 裕輔（代表）若手研究：429 万円
- 7) 『表皮内における IL-13 産生 T 細胞の分化誘導シグナルの解明』  
河井一浩（代表）基盤研究（C）：442 万円

### XIV. 特 許

ナ シ

### XV. 受 賞

ナ シ

### XVI. 学位取得者

ナ シ

### XVII. 専門医取得者

有村亜希子

勝江浩美

## XVIII. 教室員の動向

【教 授】 金蔵拓郎

【准教授】 東 裕子

【診療准教授】 藤井一恭

【講 師】 内田洋平 (2020.12 迄)

【診療講師】 多田浩一

【助 教】 指宿敦子 畠中美帆 馬場直子

【医 員】 久留光博 山筋好子 川平尚生 (2020.5～)  
野元裕輔 大久保 葵 宮内一成  
本田遼馬 (2021.3 迄)

【大学院生】 山筋好子 野元裕輔 大久保 葵

【部内研究生】 な し

【部外研究生】 寺崎祐太郎

【研修登録医】 な し

【客員研究員】 河井一浩 内田洋平 (2021.1～)

【医 局 長】 多田浩一

【病棟医長】 指宿敦子

【外来医長】 馬場直子

【出 向 者】 有村亜希子：いまきいれ総合病院 三好逸男：キラメキラスヘルスケアホスピタル  
馬場淳徳：鹿児島市立病院 松岡温子：鹿児島県立大島病院 (2021.3 迄)  
上塘葉子：今村総合病院

【外国留学】 な し

【国内留学】 な し

【外国人留学生】 な し

【外国人帰国者】 な し

【退局者】 な し

【退職者】 な し

【新規就職者】 宮内一成

本田遼馬

【出差・育児休暇・休職】 勝江浩未（2020.3～）  
松岡温子（2020.6～）

山田きよ子（2020.4～）

**2021 (R2) 年 4 月～2022 (R3) 年 3 月**







# I. 著 書

## 【欧文著書】

ナ シ

## 【和文著書】

- 1) 【皮膚悪性腫瘍(第2版)下-基礎と臨床の最新研究動向-】  
乳房外パジェット病病期分類治療戦略 概論(治療アルゴリズム)(解説/特集)  
金蔵拓郎  
日本臨床 79 (増刊3) 皮膚悪性腫瘍 (下) : 270-276 (2021.7)
- 2) アフェレシス療法  
金蔵拓郎  
今日の皮膚疾患治療指針 5 : 303-304 (2022.3)
- 3) 血管免疫芽球性 T 細胞リンパ腫  
河井一浩  
今日の皮膚疾患治療指針 5 : 340-342 (2022.3)
- 4) 自家感作性皮膚炎  
河井一浩  
今日の皮膚疾患治療指針 5 : 839-840 (2022.3)

## Ⅱ．総 説

### 【欧文総説】

- 1) Pathogenesis of cutaneous T cell lymphoma: Involvement of *Staphylococcus aureus*.  
Fujii K.  
J. Dermatol. 49 (2) : 202-209 (2022. 2)

### 【和文総説】

- 1) 【皮膚悪性腫瘍(第2版)下-基礎と臨床の最新研究動向-】皮膚リンパ腫 皮膚リンパ腫の診断と治療 菌状息肉症 臨床症状と予後  
藤井一恭  
日本臨床 皮膚悪性腫瘍(下) 79 (3) : 440-454 (2021.7)
- 2) 【皮膚悪性腫瘍(第2版)下-基礎と臨床の最新研究動向-】皮膚リンパ腫 皮膚リンパ腫の診断と治療 菌状息肉症 早期病変の診断と類似疾患との鑑別診断  
藤井一恭  
日本臨床 皮膚悪性腫瘍(下) 79 (3) : 455-459 (2021.7)
- 3) 皮膚リンパ腫の最新治療  
藤井一恭  
Skin Cancer 36 (2) : 144-148 (2021.10)
- 4) 【皮膚リンパ腫の病態、診断と治療】疫学調査からわかる本邦の皮膚リンパ腫  
藤井一恭  
皮膚 1 (3) : 306-317 (2022.03)

### Ⅲ. 原 著

#### 【欧文原著】

- 1) Gender disparities in academic dermatology in Japan: Results from the first national survey.  
Kishibe M, Saijo Y, Igawa S, Maruyama A, Tamagawa-Mineoka R, Nishida E, Higashi Y, Komine M, Tada Y, Aoyama Y, Hide M, Ishida-Yamamoto A.  
J. Dermatol. Sci. 102(1): 2-6 (2021.4)
- 2) Microcystic adnexal carcinoma with xanthomatous reaction.  
Fujii K, Arimura A, Ibusuki A, Uchida Y, Kanekura T.  
Acta. Derm. Venereol. 101(4) : adv00436 (2021.4)
- 3) Ultraviolet B irradiation decreases CXCL10 expression in keratinocytes through endoplasmic reticulum stress.  
Ohnishi T, Hisadome M, Joji K, Chiba N, Amir MS, Kanekura T, Matsuguchi T.  
J. Cell. Biochem. 122:1141-1156 (2021.4)
- 4) Pyoderma Gangrenosum After Total Hip Arthroplasty Associated with Administration of Granulocyte Colony-Stimulating Factor.  
Mizushima M, Miyoshi H, Yonemori K.  
JBJS Case Connect. 20:11(2) (2021.4).
- 5) Common variable immunodeficiency disclosed by recurrent impetigo.  
Hatanaka M, Fujii K, Hamada H, Kanekura T.  
J. Dermatol. 48(7):e335-e336 (2021.7)
- 6) Successful treatment of pyoderma gangrenosum, acne, and suppurative hidradenitis syndrome with granulocyte and monocyte adsorption apheresis  
Hatanaka M, Fujii K, Kanekura T.  
J. Dermatol. 48(8):e376-e377 (2021.8)
- 7) Efficacy of S-1 plus docetaxel in the treatment of metastatic extramammary Paget's disease: a multicentre retrospective study.  
Matsushita S , Fujii K , Kajihara I , Aoki M , Yamamura K , Tada K , Kanekura T , Aoi J , Fukushima S .  
Br J Dermatol. 185(2): 458-460 (2021.8)
- 8) Pemphigus vulgaris associated with scleritis.  
Honda R, Fujii K, Utatsu K, Kanekura T.  
Clin. Exp. Dermatol. 46(6): 1105-1106 (2021.8)
- 9) Hypertrophic lichenoid dermatitis during pembrolizumab treatment.  
Honda R, Fujii K, Uchida Y, Takeda A, Umeda S, Umehara T, Kanekura T.  
J. Cutan. Immunol. Allergy. 4: 95-96 (2021.8)
- 10) Functional depletion of HSP72 by siRNA and quercetin enhances vorinostat-induced apoptosis in HSP72-overexpressed cutaneous T-cell lymphoma cells Line, Hut78  
Fujii K, Idogawa M, Suzuki N, Iwatsuki K, Kanekura T.  
Int. J. Mol. Sci. 22(20):11258 (2021.10)
- 11) Resident human dermal  $\gamma\delta$ T-cells operate as stress-sentinels: Lessons from the hair follicle  
Uchida Y, Gherardini J, Pappelbaum K, Chéret J, Schulte-Mecklenbeck A, Gross CC, Strbo N, Gilhar A, Rossi A, Funk W, Kanekura T, Almeida L, Bertolini M, Paus R.  
J. Autoimmun. 124 : 102711 (2021.11)

- 12) The Japanese Society for Apheresis clinical practice guideline for therapeutic apheresis  
Abe T, Matsuo H, Abe R, Abe S, Asada H, Ashida A, Baba A, Eguchi K, Eguchi Y, Endo Y, Fujimori Y, Furuichi K, Furukawa Y, Furuya M, Furuya T, Hanafusa N, Hara W, Harada-Shiba M, Hasegawa M, Hattori N, Hattori M, Hidaka S, Hidaka T, Hirayama C, Ikeda S, Imamura H, Inoue K, Ishizuka K, Ishizuka K, Ito T, Iwamoto H, Izaki S, Kagitani M, Kaneko S, Kaneko N, Kanekura T, Kitagawa K, Kusaoi M, Lin Y, Maeda T, Makino H, Makino S, Matsuda K, Matsugane T, Minematsu Y, Mineshima M, Miura K, Miyamoto K, Moriguchi T, Murata M, Naganuma M, Nakae H, Narukawa S, Nohara A, Nomura K, Ochi H, Ohkubo A, Ohtake T, Okada K, Okado T, Okuyama Y, Omokawa S, Oji S, Sakai N, Sakamoto Y, Sasaki S, Sato M, Seishima M, Shiga H, Shimohata H, Sugawara N, Sugimoto K, Suzuki Y, Suzuki M, Tajima T, Takikawa Y, Tanaka S, Taniguchi K, Tsuchida S, Tsukamoto T, Tsushima K, Ueda Y, Wada T, Yamada H, Yamada H, Yamaka T, Yamamoto K, Yokoyama Y, Yoshida N, Yoshioka T, Yamaji K.  
*Ther. Apher. Dial.* 25(6):728-876 (2021.12)
- 13) CD147 Is Essential for the Development of Psoriasis via the Induction of Th17 Cell Differentiation  
Okubo A, Uchida Y, Higashi Y, Sato T, Ogawa Y, Ryuge A, Kadomatsu K, Kanekura T.  
*Int. J. Mol. Sci.* 23(1):177 (2021.12)
- 14) Clinical characteristics of Japanese pustular psoriasis: A multicenter observational study  
Ohata C, Tsuruta N, Yonekura K, Higashi Y, Saito K, Katayama E, Imafuku S, Western Japan Inflammatory Disease Research Group.  
*J. Dermatol.* 49:142–150 (2022.1)
- 15) Acquired smooth muscle hamartoma of the scrotum.  
Kawahira H, Fujii K, Yonezawa T, Osako Y, Kanekura T.  
*J. Dermatol.* 49(1): e20-e21 (2022.1)
- 16) Tumor response evaluation in patients with malignant melanoma undergoing immune checkpoint inhibitor therapy and prognosis prediction using 18 F-FDG PET/CT: multicenter study for comparison of EORTC, PERCIST, and imPERCIST  
Kitajima K, Watabe T, Nakajo M, Ishibashi M, Daisaki H, Soeda F, Tanemura A, Kanekura T, Yamazaki N, Ito K.  
*Jap. J. Radiol.* 40:75–85 (2022.1)
- 17) Primary laryngeal pemphigus vulgaris with severe epiglottitis.  
Honda R, Ando Y, Fujii K, Iuchi H, Harada M, Yamashita M, Kanekura T.  
*J. Cutan. Immunol. Allergy.* 5(1): 27-28 (2022.2)
- 18) Safety and efficacy of bexarotene for Japanese patients with cutaneous T-cell lymphoma: Real-world experience from post-marketing surveillance  
Hamada T, Morita A, Suga H, Boki H, Fujimura T, Hirai Y, Shimauchi T, Tateishi C, Kiyohara E, Muto I, Nakajima H, Abe R, Fujii K, Nishigori C, Nakano E, Yonekura K, Funakoshi F, Amano M, Miyagaki T, Makita N, Manaka K, Shimoyama Y, Sugaya M  
*J. Dermatol.* 49(2):253-262 (2022.2)
- 19) Surgical excision: An option for a resectable lesion of cutaneous type adult T-cell leukemia/lymphoma.  
Fujii K, Kanekura T.  
*J. Dermatol.* 49(2): e50-e52 (2022. 2)
- 20) Papular CD30 + T-cell pseudolymphoma induced by S-1.  
Tsutsui Y, Kawai K.  
*J. Dermatol.* 49(2): e48-e49 (2022. 2 )

## 【和文原著】

- 1) 乾癬の生物学的製剤治療に対する結核対策実態の多施設共同調査  
金子 栄、鶴田 紀子、伊藤 宏太郎、山口 和記、宮城 拓也、高橋 健造、東 裕子、森実 真、野村 隼人、山口 道也、日野 亮介、澤田 雄宇、中村 元信、大山 文悟、大畑 千佳、米倉 健太郎、林 宏明、柳瀬 哲至、松阪 由紀、杉田 和成、菊池 智子、三苫 千景、中原 剛士、古江 増隆、岡崎 布佐子、小池 雄太、今福 信一、  
西日本炎症性皮膚疾患研究会  
日本皮膚科学会雑誌 131 (6) : 1525-1532 (2021.5)
- 2) 開腹術後の瘻孔部に発症した基底細胞癌の1例  
上塘 葉子、武田 浩一郎、玉井 真理子、佐藤 浩子、二之宮 謙次郎、田代 幸恵、  
島田 辰彦、米倉 健太郎、金蔵 拓郎  
Skin Cancer 36(1) : 33-37 (2021.6)
- 3) 眼窩内に寄生した Manson 孤虫症の1例  
古江 恵理、上笹貫太郎、平木 翼、小牧祐雅、東 裕子、谷本 昭英、井戸 章雄、  
坂本 泰二  
臨床眼科 75 (8) : 1031-1036 (2021.8)
- 4) CD4/CD8 double-negative 菌状息肉症の1例  
上塘 葉子、米倉 健太郎、田代 幸恵、二之宮 謙次郎、金蔵 拓郎、古江 恵理、  
上笹貫 太郎、平木 翼、小牧 祐雅、東 裕子、谷本 昭英、井戸 章雄、坂本 泰二  
Skin Cancer 36 (3) : 230-234 (2022.2)

## IV. その他

- 1) 第2回皮膚科医の勤務状況に関する実態調査報告  
東 裕子、青山 裕美、中原 真希子、鷺尾 健、中島 喜美子、田中 了、鎌田 昌洋、  
金子 栄、柴田 彩、松村 由美、石河 晃、多田 弥生  
日本皮膚科学会雑 131 (4) : 655-669 (2021.04)
- 2) 【解説】日本アフェレシス学会 診療ガイドライン 2021 (膿疱性乾癬、乾癬性関節炎、  
掌蹠膿疱症)  
金蔵拓郎、ガイドライン作成委員会  
日本アフェレシス学会雑誌 (1340-5888)40(2): i-397(2021.05)
- 3) Preface to Journal of Dermatology special issue: Cutaneous lymphoma .  
Kazuhiro Kawai  
J. Dermatol. 49(2): 201. (2022.2)
- 4) 【連載】皮膚科専門医のための模擬テスト2  
東 裕子  
皮膚科第 1 (2) : 287 (2022.2)
- 5) 【かゆみ診療に必要な最新の知識】かゆみの薬物治療 外用剤  
金蔵 拓郎  
臨床と研究 99 (3): 301-306 (2022.3)

## V. 学会発表

### 【国際・特別（招請）講演】

ナ シ

### 【国際・一般講演】

ナ シ

### 【国際・教育講演】

ナ シ

### 【国際・シンポジウム】謝罪

ナ シ

### 【国際・ワークショップ】

ナ シ

### 【国際・セミナー】

ナ シ

### 【国際・一般演題】

ナ シ

### 【国際・その他】

ナ シ

## 【国内・特別（招請）講演】

- 1) 患者に寄りそう乾癬治療  
東 裕子（鹿児島大学皮膚科）  
Muse Web Meeting  
2021年4月7日 高知（Web開催）
- 2) 壊疽性膿皮症—治療のトピックス—  
金蔵拓郎（鹿児島大学皮膚科）  
第4回山梨県炎症性皮膚疾患セミナー  
2021年4月22日 甲府（Web開催）
- 3) 生活習慣病と乾癬  
東 裕子（鹿児島大学皮膚科）  
九州乾癬 Web セミナー  
2021年5月17日 福岡（Web開催）
- 4) 皮膚T細胞リンパ腫の治療  
金蔵拓郎（鹿児島大学皮膚科）  
鳥取県臨床皮膚科医会  
2021年5月20日 米子（Web開催）
- 5) 痒みを制するものはアトピー性皮膚炎を制す？  
指宿敦子（鹿児島大学皮膚科）  
鹿児島のAD治療を考える会  
2021年6月9日 鹿児島（Web開催）
- 6) 鹿児島大学病院における重症アトピー性皮膚炎に対する治療の実際  
指宿敦子（鹿児島大学皮膚科）  
鹿児島県アトピー性皮膚炎学術講演会  
2021年6月30日 鹿児島（Web開催）
- 7) 生活習慣病と乾癬  
東 裕子（鹿児島大学皮膚科）  
皮膚科診療 UP TO DATE 2021  
2021年7月15日 奈良（Web開催）
- 8) 壊疽性膿皮症—治療のトピックス—  
金蔵拓郎（鹿児島大学皮膚科）  
第3回 WAKAYAMA Dedma Webセミナー  
2021年10月7日 和歌山（Web開催）
- 9) 下腿潰瘍の原因とその対処法  
東 裕子（鹿児島大学皮膚科）  
地域連携で脈管疾患を考える会  
2021年11月25日 鹿児島
- 10) 鹿児島大学病院における掌蹠膿疱症に対する治療の取り組み  
馬場直子（鹿児島大学皮膚科）  
PPP web seminar in Kagoshima  
2021年12月20日 鹿児島（Web開催）



- 11) Doxycycline as an initial treatment of bullous pemphigoid in Japanese patients  
Kimura K, Kawai K.  
2020 年度 JCIA 最優秀論文賞受賞講演  
第 51 回日本皮膚免疫アレルギー学会学術大会  
2021 年 11 月 26 日 東京 (Web 開催)

- 12) 壊疽性膿皮症—治療のトピックス—  
金蔵拓郎 (鹿児島大学皮膚科)  
第 36 回皮膚疾患の病態と治療シンポジウム  
2022 年 1 月 29 日 東京 (Web 開催)

#### 【国内・一般講演】

ナ シ

#### 【国内・教育講演】

- 1) アトピー性皮膚炎の診療  
指宿敦子 (鹿児島大学大学院皮膚科学)  
社内研修会 (鳥居薬品工業株式会社)  
2021 年 4 月 14 日 鹿児島
- 2) 悪性黒色腫  
藤井一恭 (鹿児島大学皮膚科)  
社内研修会 (ノバルティスファーマ株式会社)  
2021 年 5 月 26 日 鹿児島
- 3) 好中球性皮膚疾患に対する顆粒球。単球吸着除去療法  
金蔵拓郎 (鹿児島大学皮膚科)  
社内研修会 (日本ベーリンガーインルハイム株式会社 Lecture Meeting)  
2021 年 8 月 25 日 鹿児島
- 4) How I treat nonpulpulent/non-necrotizing SSTI: 抗菌薬の正しい使い方  
河井一浩 (木戸病院皮膚科)  
新潟大学皮膚科カンファレンス  
2021 年 11 月 17 日 新潟 (Web 開催)

#### 【国内・シンポジウム】

- 1) 皮膚リンパ腫の最新治療  
藤井一恭 (鹿児島大学皮膚科)  
第 37 回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会  
2021 年 7 月 9～10 日 長野
- 2) GMA を使いこなす  
金蔵拓郎 (鹿児島大学皮膚科)  
第 36 回日本乾癬学会学術大会  
2021 年 9 月 3～4 日 千葉
- 3) 皮膚疾患関連アフェシス—最近の動向

乾癬性関節炎に対する GMA の有効性と安全性  
東 裕子、金蔵拓郎（鹿児島大学皮膚科）  
第 42 回日本アフェレシス学会学術大会

2021 年 10 月 16～17 日 東京

### 【国内・ワークショップ】

ナ シ

### 【国内・セミナー】

- 1) 〈ウェブセミナー〉リンパ節浸潤後も緩徐な経過を呈している菌状息肉症  
藤井一恭（鹿児島大学皮膚科）  
ミノファーゲン製薬 第 60 回 WEB ライブセミナー  
2021 年 9 月 9 日 (Web 配信)
- 2) 〈モーニングセミナー〉疫学調査から見てきた皮膚悪性リンパ腫の新規治療の必要性  
藤井一恭（鹿児島大学皮膚科）  
第 73 回日本皮膚科学会西部支部学術大会モーニングセミナー  
2021 年 10 月 30～31 日 宮崎

### 【国内・一般演題】

- 1) 2020 年鹿児島大学病院皮膚科外来、紹介患者、パッチテスト統計  
馬場直子、本田遼馬、宮内一成、大久保 葵、野元祐輔、川平尚生、山筋好子、  
久留光博、畠中美帆、指宿敦子、内田洋平、多田浩一、藤井一恭、東 裕子、  
金蔵拓郎（鹿児島大学皮膚科）  
第 187 回日本皮膚科学会鹿児島地方会・総会  
2021 年 4 月 18 日 鹿児島 (Web 開催)
- 2) 2020 年鹿児島大学病院皮膚科入院患者統計  
指宿敦子、本田遼馬、宮内一成、大久保 葵、野元祐輔、川平尚生、山筋好子、  
久留光博、畠中美帆、馬場直子、内田洋平、多田浩一、藤井一恭、東 裕子、金蔵拓郎  
（鹿児島大学皮膚科）  
第 187 回日本皮膚科学会鹿児島地方会・総会  
2021 年 4 月 18 日 鹿児島 (Web 開催)
- 3) Longitudinal subungual acanthoma の 1 例  
宮内一成、野元祐輔、久留光博、指宿敦子、金蔵拓郎（鹿児島大学皮膚科）  
第 187 回日本皮膚科学会鹿児島地方会・総会  
2021 年 4 月 18 日 鹿児島 (Web 開催)
- 4) Lupus mastitis の 1 例  
大久保葵<sup>1</sup>、本田遼馬<sup>1</sup>、畠中美帆<sup>1</sup>、馬場直子<sup>1</sup>、指宿敦子<sup>1</sup>、橋口貴樹<sup>2</sup>、藤井一恭<sup>1</sup>、  
東 裕子<sup>1</sup>、金蔵拓郎<sup>1</sup>（<sup>1</sup>鹿児島大学皮膚科、<sup>2</sup>南九州市）  
第 187 回日本皮膚科学会鹿児島地方会・総会  
2021 年 4 月 18 日 鹿児島 (Web 開催)
- 5) 反応性穿孔性膠原線維症の 1 例  
宮崎研斗<sup>1</sup>、玉井真理子<sup>1</sup>、上塘葉子<sup>1</sup>、武田浩一郎<sup>1</sup>、佐藤浩子<sup>1</sup>、米倉健太郎<sup>1</sup>、

西 正行<sup>2</sup> (1 今村総合病院皮膚科、2 始良市)  
第 187 回日本皮膚科学会鹿児島地方会・総会

2021 年 4 月 18 日 鹿児島 (Web 開催)

6) プシラミンによる蕁疹の 1 例

武田浩一郎<sup>1</sup>、上糖葉子<sup>1</sup>、玉井真理子<sup>1</sup>、佐藤浩子<sup>1</sup>、米倉健太郎<sup>1</sup>、西 正行<sup>2</sup>  
(<sup>1</sup>今村総合病院皮膚科、<sup>2</sup>始良市)  
第 187 回日本皮膚科学会鹿児島地方会・総会

2021 年 4 月 18 日 鹿児島 (Web 開催)

7) CD4/CD8 double-negative 菌状息肉症の 1 例

上塘葉子<sup>1</sup>、武田浩一郎<sup>1</sup>、玉井真理子<sup>1</sup>、佐藤浩子<sup>1</sup>、二之宮謙次郎<sup>2</sup>、田代幸恵<sup>2</sup>、  
米倉健太郎<sup>1</sup> (<sup>1</sup>今村総合病院皮膚科、<sup>2</sup>同病理診断科)  
第 187 回日本皮膚科学会鹿児島地方会・総会

2021 年 4 月 18 日 鹿児島 (Web 開催)

8) 令和 3 年度鹿児島大学大学院医歯学総合研究科感覚器病学講座皮膚科学分野教室の体制  
多田浩一 (鹿児島大学皮膚科)

第 187 回日本皮膚科学会鹿児島地方会・総会

2021 年 4 月 18 日 鹿児島 (Web 開催)

9) 下口唇有棘細胞癌に対して Fan-shaped flap で再建した 1 例

久留光博 (鹿児島大学皮膚科)  
第 36 回日本皮膚外科学会総会・学術集会

2021 年 5 月 29～30 日 鹿児島

10) 右大腿内側に認めた Angiomyomatous hamartoma of lymph nodes (AMH-LN) の 1 例

久留光博、本田遼馬、野元裕輔、川平尚生、畠中美帆、指宿敦子、藤井一恭、  
金蔵拓郎 (鹿児島大学皮膚科)  
第 120 回日本皮膚科学会総会

2021 年 6 月 10～13 日 横浜

11) Progressive cribriform and zosteriform hyperpigmentation の 1 例

山筋好子<sup>1</sup>、馬場直子<sup>1</sup>、指宿敦子<sup>1</sup>、多田浩一<sup>1</sup>、藤井一恭<sup>1</sup>、東 裕子<sup>1</sup>、  
吉福明日香<sup>2</sup>、金蔵拓郎<sup>1</sup> (<sup>1</sup>鹿児島大学皮膚科、<sup>2</sup>鹿児島市)  
第 120 回日本皮膚科学会総会

2021 年 6 月 10～13 日 横浜

12) Cutaneous collagenous vasculopathy の 1 例

宮内一成、野元裕輔、畠中美帆、馬場直子、指宿敦子、多田浩一、東裕子、金蔵拓郎  
(鹿児島大学皮膚科)  
第 120 回日本皮膚科学会総会

2021 年 6 月 10～13 日 横浜

13) 水疱性類天疱瘡の治療中に MRSA 菌血症、人工血管感染を合併した 1 例

上塘葉子、武田浩一郎、玉井真理子、佐藤浩子、米倉健太郎(今村総合病院皮膚科)  
第 120 回日本皮膚科学会総会

2021 年 6 月 10～13 日 横浜

14) S-1 による papular CD30+ T-cell pseudolymphoma

筒井由夏<sup>1</sup>、河井一浩<sup>1</sup>、阿部要一<sup>2</sup>  
(木戸病院皮膚科、<sup>2</sup>同外科)

日本皮膚科学会新潟地方会第402回例会

2021年6月26日 新潟 (Web開催)

15) Cutaneous collagenous vasculopathy の1例

宮内一成、野元裕輔、畠中美帆、馬場直子、指宿敦子、多田浩一、東裕子、金蔵拓郎  
(鹿児島大学皮膚科)

第45回日本小児皮膚科学会学術大会

2021年7月3～4日 東京

16) CD4/CD8 double-negative 菌状息肉症の1例

上塘葉子<sup>1</sup>、武田浩一郎<sup>1</sup>、玉井真理子<sup>1</sup>、佐藤浩子<sup>1</sup>、二之宮謙次郎<sup>2</sup>、田代幸恵<sup>2</sup>、  
米倉健太郎<sup>1</sup> (<sup>1</sup>今村総合病院皮膚科、<sup>2</sup>同病理診断科)

第37回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会

2021年7月9～10日 長野

17) 腸管皮膚瘻から発生した有棘細胞癌の1例

川平尚生<sup>1</sup>、藤井一恭<sup>1</sup>、大井秀久<sup>2</sup>、金蔵拓郎<sup>1</sup> (<sup>1</sup>鹿児島大学皮膚科、<sup>2</sup>いづろ今村病院)

第37回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会

2021年7月9～10日 長野

18) 進行期乳房外パジェット病に対する S-1/DOC 併用療法の有効性

—多施設後方視的研究—

山村健太郎<sup>1</sup>、藤井一恭<sup>2</sup>、梶原一亨<sup>3</sup>、青木恵美<sup>1</sup>、多田浩一<sup>2</sup>、金蔵拓郎<sup>2</sup>、  
青井 淳<sup>3</sup>、福島 聡<sup>3</sup>、松下茂人<sup>1</sup> (<sup>1</sup>鹿児島医療センター 皮膚腫瘍科・皮膚科、  
<sup>2</sup>鹿児島大学皮膚科、<sup>3</sup>熊本大学 皮膚科)

第37回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会

2021年7月9～10日 長野

19) デュピルマブで顕在化した菌状息肉症の1例

宮内一成、藤井一恭、指宿敦子、久留光博、野元裕輔、金蔵拓郎(鹿児島大学皮膚科)

第37回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会

2021年7月9～10日 長野

20) 皮膚リンパ腫 全国症例数調査の結果 (2020年版)

藤井一恭<sup>1,5</sup>、島内隆寿<sup>2,5</sup>、浅井 純<sup>3,5</sup>、藤澤康弘<sup>4,5</sup>、加藤則人<sup>3,5</sup>

(<sup>1</sup>鹿児島大学皮膚科、<sup>2</sup>浜松医科大学皮膚科、<sup>3</sup>京都府立医科大学皮膚科、  
<sup>4</sup>筑波大学皮膚科、<sup>5</sup>皮膚がん予後統計委員)

第37回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会

2021年7月9～10日 長野

21) Japanese Melanoma Study 2020 年報告

藤澤康弘<sup>1,2</sup>、浅井 純<sup>2,3</sup>、島内隆寿<sup>2,4</sup>、藤井一恭<sup>2,5</sup>、加藤則人<sup>2,3</sup> (<sup>1</sup>筑波大学、  
<sup>2</sup>日本皮膚悪性腫瘍学会皮膚がん予後統計委員会、<sup>3</sup>京都府立医科大学皮膚科、  
<sup>4</sup>浜松医科大学皮膚科、<sup>5</sup>鹿児島大学皮膚科)

第37回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会

2021年7月9～10日 長野

22) キノーム解析による皮膚T細胞リンパ腫に対するHDAC阻害剤の併用療法の探索

藤井一恭 (鹿児島大学皮膚科)

- 23) Rubinstein-Taybi 症候群の 1 例  
宮内一成、川平尚生、久留光博、指宿敦子、多田浩一、藤井一恭、東 裕子、  
金蔵拓郎 (鹿児島大学皮膚科)  
第 188 回日本皮膚科学会鹿児島地方会  
2021 年 7 月 18 日 鹿児島
- 24) 乾癬の治療経過中に水疱性類天疱瘡を合併した 3 症例  
吉崎 愛<sup>1</sup>、久留光博<sup>1</sup>、畠中美帆<sup>1</sup>、有村亜希子<sup>2</sup>、馬場直子<sup>1</sup>、指宿敦子<sup>1</sup>、  
東 裕子<sup>1</sup>、金蔵拓郎<sup>1</sup> (<sup>1</sup>鹿児島大学皮膚科、<sup>2</sup>いまきいれ総合病院皮膚科)  
第 188 回日本皮膚科学会鹿児島地方会  
2021 年 7 月 18 日 鹿児島
- 25) 肉芽腫の像を呈した ATLL の 1 例  
山筋好子<sup>1</sup>、馬場直子<sup>1</sup>、指宿敦子<sup>1</sup>、藤井一恭<sup>1</sup>、東 裕子<sup>1</sup>、四本秀昭<sup>2</sup>、金蔵拓郎<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>鹿児島大学皮膚科、<sup>2</sup>鹿児島市)  
第 188 回日本皮膚科学会鹿児島地方会  
2021 年 7 月 18 日 鹿児島
- 26) メトトレキサート投与中に生じた皮下脂肪織炎様 T 細胞リンパ腫の 1 例  
川平尚生<sup>1</sup>、馬場直子<sup>1</sup>、指宿敦子<sup>1</sup>、多田浩一<sup>1</sup>、藤井一恭<sup>1</sup>、東 裕子<sup>1</sup>、  
濱田 洋<sup>2</sup>、金蔵拓郎<sup>1</sup> (<sup>1</sup>鹿児島大学皮膚科、<sup>2</sup>霧島市)  
第 188 回日本皮膚科学会鹿児島地方会  
2021 年 7 月 18 日 鹿児島
- 27) タコ咬症による肉芽腫の 1 例  
久留光博<sup>1</sup>、新家佳代子<sup>2</sup>、金蔵拓郎<sup>1</sup> (<sup>1</sup>鹿児島大学皮膚科、  
<sup>2</sup>屋久島徳洲会病院 形成外科)  
第 188 回日本皮膚科学会鹿児島地方会  
2021 年 7 月 18 日 鹿児島
- 28) 左耳甲介腔に生じた有棘細胞癌の 1 例  
上塘葉子、武田浩一郎、玉井真理子、佐藤浩子、米倉健太郎 (今村総合病院皮膚科)  
第 188 回日本皮膚科学会鹿児島地方会  
2021 年 7 月 18 日 鹿児島
- 29) オオハリアリ (*Pachycondyla chinensis*) 刺症によるアナフィラキシーの 1 例  
馬場淳徳<sup>1</sup>、中江健太郎<sup>1</sup>、初村愛紗<sup>2</sup>、大西広一<sup>2</sup>、吉原秀明<sup>2</sup> (<sup>1</sup>鹿児島市立病院皮膚科、  
<sup>2</sup>同救急科)  
第 188 回日本皮膚科学会鹿児島地方会  
2021 年 7 月 18 日 鹿児島
- 30) 鹿児島大学病院皮膚科アトピー性皮膚炎教育プログラム『AD cure』の治療成績  
指宿敦子<sup>1</sup>、東 裕子<sup>1</sup>、西馬場理恵<sup>2</sup>、金蔵拓郎<sup>1</sup> (<sup>1</sup>鹿児島大学皮膚科、  
<sup>2</sup>鹿児島市)  
第 188 回日本皮膚科学会鹿児島地方会  
2021 年 7 月 18 日 鹿児島
- 31) イキセキズマブによる paradoxical reaction が考えられた SLE 合併の乾癬性関節炎の 1 例

久留光博、宮内一成、野元裕輔、馬場直子、指宿敦子、内田洋平、藤井一恭、東 裕子、  
金蔵拓郎（鹿児島大学皮膚科）

第 36 回日本乾癬学会学術大会

2021 年 9 月 3～4 日 千葉

32) 乾癬の治療経過中に水疱性類天疱瘡を合併した 3 症例

吉崎 愛、久留 光博、畠中 美帆、馬場 直子、指宿 敦子、東 裕子、金蔵 拓郎  
（鹿児島大学皮膚科）

第 36 回日本乾癬学会学術大会

2021 年 9 月 3～4 日 千葉

33) 維持期の水疱性類天疱瘡患者に生じた劇症型溶血性レンサ球菌感染症

筒井由夏<sup>1</sup>、河井一浩<sup>1</sup>、池主裕子<sup>2</sup>、高村麻子<sup>3</sup>、武居いづみ<sup>4</sup>、松原三希子<sup>5</sup>

（<sup>1</sup>木戸病院皮膚科、<sup>2</sup>同循環器内科、<sup>3</sup>同消化器内科、<sup>4</sup>新潟大学皮膚科、<sup>5</sup>新潟白根総合  
病院皮膚科）

日本皮膚科学会新潟地方会第 403 回例会

2021 年 9 月 11 日新潟 （Web 開催）

34) 壊疽性膿皮症患者に対する顆粒球吸着除去療法の治療効果.

東 裕子、指宿敦子、馬場直子、多田浩一、藤井一恭、金蔵拓郎  
（鹿児島大学皮膚科）

第 42 回日本アフェレンス学会学術大会

2021 年 10 月 16～17 日 東京

35) 細胞外小胞に発現する糖鎖の構造、機能およびがんとの関連

原田陽一郎<sup>1</sup>、近藤清貴<sup>2</sup>、中嶋和紀<sup>3</sup>、中の三弥子<sup>4</sup>、鈴木健裕<sup>5</sup>、堀貫治<sup>6</sup>、矢木宏和<sup>7</sup>、  
加藤晃一<sup>7</sup>、鈴木匡<sup>8</sup>、堂前直<sup>5</sup>、金蔵拓郎<sup>9</sup>、井上博雅<sup>2</sup>、丸山征郎<sup>10</sup>、谷口直之<sup>1</sup>

（<sup>1</sup>大阪国際がんセンター研究所糖鎖オンコロジー部、<sup>2</sup>鹿児島大学呼吸器内科、  
<sup>3</sup>藤田医科大学 共同利用研究設備サポートセンター、<sup>4</sup>広島大学 大学院統合生命科学研究科 生物工学ユニット、<sup>5</sup>理化学研究所 環境資源科学研究センター 生命分子解  
析ユニット、<sup>6</sup>広島大学 大学院統合生命科学研究科 海洋生物資源化学研究室、<sup>7</sup>名古屋  
市立大学 大学院薬学研究科 生命分子構造学分野、<sup>8</sup>理化学研究所 開拓研究本部  
鈴木糖鎖代謝生化学研究室、<sup>9</sup>鹿児島大学皮膚科、<sup>10</sup>鹿児島大学大学院シス  
テム血栓制御学講座）

第 8 回日本細胞小胞学会学術集会

2021 年 10 月 18～19 日 （Web 開催）

36) 子宮体癌の治療後に症状が軽快した paraneoplastic acral vascular syndrome の 1 例.

吉崎 愛<sup>1</sup>、指宿敦子<sup>1</sup>、馬場直子<sup>1</sup>、武田浩一郎<sup>2</sup>、東 裕子<sup>1</sup>、金蔵拓郎<sup>1</sup>、神尾真樹<sup>3</sup>、  
丸山友美<sup>3</sup>

（<sup>1</sup>鹿児島大学皮膚科、<sup>2</sup>今村総合病院皮膚科、<sup>3</sup>鹿児島大学婦人科）

第 73 回日本皮膚科学会西部支部学術大会

2021 年 10 月 30～31 日 宮崎 （Web 配信）

37) 筋肉浸潤がみられた ATL の 1 例

川平尚生、久留光博、指宿敦子、多田浩一、藤井一恭、東 裕子、金蔵拓郎  
（鹿児島大学皮膚科）

第 73 回日本皮膚科学会西部支部学術大会

2021 年 10 月 30～31 日 宮崎

38) 爪楊枝誤飲による上行結腸、腹壁穿孔から皮下膿瘍を形成した 1 例

上塘葉子<sup>1</sup>、武田浩一郎<sup>1</sup>、玉井真理子<sup>1</sup>、佐藤浩子<sup>1</sup>、田辺 寛<sup>2</sup>、馬場研二<sup>2</sup>、  
米倉健太郎<sup>1</sup> (<sup>1</sup>今村総合病院皮膚科、<sup>2</sup>同消化器外科)

第 73 回日本皮膚科学会西部支部学術大会

2021 年 10 月 30～31 日 宮崎

- 39) 本邦皮膚科における成人 T 細胞白血病/リンパ腫の疫学調査ー皮膚リンパ腫全国症例数調査のサブグループ解析

藤井一恭<sup>1,2</sup>、島内隆寿<sup>1,3</sup>、浅井 純<sup>1,4</sup>、藤澤康弘<sup>1,5</sup>、金蔵拓郎<sup>2</sup>、加藤則人<sup>1,4</sup>

(<sup>1</sup>日本皮膚悪性腫瘍学会皮膚がん予後統計委員会、<sup>2</sup>鹿児島大学皮膚科、

<sup>3</sup>浜松医科大学皮膚科、<sup>4</sup>京都府立医科大学皮膚科 <sup>5</sup>筑波大学皮膚科)

第 7 回日本 HTLV-1 学会学術集会

2021 年 11 月 5～7 日 熊本

- 40) 筋肉浸潤がみられた ATL の 1 例

川平尚生、久留光博、指宿敦子、多田浩一、藤井一恭、東 裕子、金蔵拓郎

(鹿児島大学皮膚科)

第 7 回日本 HTLV-1 学会学術集会

2021 年 11 月 5～7 日 熊本

- 41) Lupus mastitis の 1 例

山筋 好子<sup>1</sup>、大久保葵<sup>1</sup>、島中美帆<sup>1</sup>、馬場直子<sup>1</sup>、指宿敦子<sup>1</sup>、多田浩一<sup>1</sup>、橋口貴樹<sup>2</sup>、  
藤井一恭、<sup>1</sup>、東 裕子<sup>1</sup>、金蔵拓郎<sup>1</sup> (<sup>1</sup>鹿児島大学皮膚科、<sup>2</sup>南九州市)

第 51 回日本皮膚免疫アレルギー学会総会学術大会

2021 年 11 月 26～28 日 東京 (Web 開催)

- 42) 子宮体癌の治療後に症状が軽快した paraneoplastic acral vascular syndrome の 1 例

吉崎 愛<sup>1</sup>、指宿敦子<sup>1</sup>、馬場直子<sup>1</sup>、武田浩一郎<sup>2</sup>、東 裕子<sup>1</sup>、金蔵拓郎<sup>1</sup>、神尾真樹<sup>3</sup>、  
丸山友美<sup>3</sup> (<sup>1</sup>鹿児島大学皮膚科、<sup>2</sup>今村総合病院皮膚科、<sup>3</sup>鹿児島大学婦人科)

第 51 回日本皮膚免疫アレルギー学会総会学術大会

2021 年 11 月 26～28 日 東京 (Web 開催)

- 43) 菌状息肉症に合併した光線過敏症の 1 例

川平尚生、宮内一成、野元祐輔、久留光博、指宿敦子、多田浩一、藤井一恭、東 裕子、  
金蔵拓郎 (鹿児島大学皮膚科)

第 51 回日本皮膚免疫アレルギー学会総会学術大会

2021 年 11 月 26～28 日 東京 (Web 開催)

- 44) MicroRNAs in neutrophils as markers of psoriasis

Higashi Y<sup>1</sup>, Yamakuchi M<sup>2</sup>, Fukushige T<sup>1</sup>, Hashiguchi T<sup>2</sup>, Kanekura T<sup>1</sup>.

(<sup>1</sup>Department of Dermatology, Kagoshima University Graduate School of Medical and Dental Sciences, <sup>2</sup>Department of Laboratory and Vascular Medicine, Kagoshima University Graduate School of Medical and Dental Sciences)

日本研究皮膚科学会 第 46 回年次学術大会・総会

2021 年 12 月 3～5 日 京都 (Web 開催)

- 45) Global tyrosine kinome profiling revealed Src pathway as a novel therapeutic target in combination with HDAC inhibitors for CTCL

Fujii K<sup>1</sup>, Jimura N<sup>1</sup>, Tsuchiya R<sup>2</sup>, Yoshimatsu Y<sup>2</sup>, Kondo T<sup>2</sup>, Kanekura T<sup>1</sup>.

(<sup>1</sup>The Department of Dermatology, Kagoshima University, Kagoshima, Japan, <sup>2</sup>Division of Rare Cancer Research, National Cancer Center Research Institute, Tokyo, Japan)

日本研究皮膚科学会 第 46 回年次学術大会・総会

2021 年 12 月 3～5 日 京都 (Web 開催)

- 46) T-cell receptor signaling pathways that regulate functional reprogramming of  $\gamma\delta$  T cells in the perinatal epidermis  
Ibusuki A<sup>1</sup>, Kawai K<sup>1,2</sup>, Kanekura T<sup>1</sup>.  
(<sup>1</sup>Department of Dermatology, Kagoshima University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Kagoshima, Japan, <sup>2</sup>Department of Dermatology, Kido Hospital, Niigata, Japan)  
日本研究皮膚科学会 第46回年次学術大会・総会  
2021年12月3～5日 京都 (Web開催)
- 47) MicroRNAs in neutrophils as markers of psoriasis  
Higashi Y<sup>1</sup>, Yamakuchi M<sup>2</sup>, Fukushige T<sup>1</sup>, Hashiguchi T<sup>1</sup>, Kanekura T<sup>1</sup>.  
(<sup>1</sup>Department of Dermatology, Kagoshima University Graduate School of Medical and Dental Sciences, <sup>2</sup>Department of Laboratory and Vascular Medicine, Kagoshima University Graduate School of Medical and Dental Sciences )  
日本研究皮膚科学会 第46回年次学術大会・総会  
2021年12月3～5日 京都 (Web開催)
- 48) Persistent HHV-6 infection has an increased risk of autoimmune disorders in patients with DIHS  
Nishimura Y<sup>1</sup>, Shobatake C, Miyagawa F<sup>1</sup>, Shinkuma S<sup>1</sup>, Watanabe H<sup>2</sup>, Kira M<sup>3</sup>, Nakajima S<sup>4</sup>, Higashi Y<sup>5</sup>, Asada H<sup>1</sup>.  
(<sup>1</sup>Department of Dermatology, Nara Medical University School of Medicine, Nara, Japan, <sup>2</sup>Department of Dermatology, Showa University School of Medicine, Tokyo Japan, <sup>3</sup>Department of Dermatology, Ikeda City Hospital, Ikeda, Japan, <sup>4</sup>Department of Dermatology, Kyoto University Graduate School of Medicine, Kyoto, Japan, <sup>5</sup>Department of Dermatology, Kagoshima University, Kagoshima, Japan)  
日本研究皮膚科学会 第46回年次学術大会・総会  
2021年12月3～5日 京都 (Web開催)
- 49) 多発性皮膚膿瘍を契機に診断された Felty 症候群  
内田梢太<sup>1</sup>、河井一浩<sup>1</sup>、筒井由夏<sup>2</sup>、山崎美穂子<sup>3</sup>  
(<sup>1</sup>木戸病院皮膚科、<sup>2</sup>新潟大学皮膚科、<sup>3</sup>木戸病院腎・膠原病内科)  
日本皮膚科学会新潟地方会第404回例会  
2021年12月11日 新潟 (Web開催)
- 50) 側頭動脈領域に生じた Angiolymphoid Hyperplasia with Eosinophilia の1例  
武田浩一郎<sup>1</sup>、上塘葉子<sup>1</sup>、玉井真理子<sup>1</sup>、佐藤浩子<sup>1</sup>、米倉健太郎<sup>1</sup>、青木恵美<sup>2</sup>  
(<sup>1</sup>今村総合病院皮膚科、<sup>2</sup>鹿児島医療センター皮膚腫瘍科、皮膚科)  
第189回日本皮膚科学会鹿児島地方会  
2021年12月12日 鹿児島
- 51) 当院で経験した新型コロナワクチン後の副反応と考えられた症例  
馬場淳徳 (鹿児島市立病院皮膚科)  
第189回日本皮膚科学会鹿児島地方会  
2021年12月12日 鹿児島
- 52) コレステリン裂隙を認める滑液包炎の1例.  
吉崎 愛、松岡温子、馬場直子、東 裕子、金蔵拓郎 (鹿児島大学皮膚科)  
第189回日本皮膚科学会鹿児島地方会  
2021年12月12日 鹿児島
- 53) 水平方向にみられた皮膚伸展線条の1例  
川平尚生<sup>1</sup>、多田浩一<sup>1</sup>、馬場直子<sup>1</sup>、指宿敦子<sup>1</sup>、藤井一恭<sup>1</sup>、東 裕子<sup>1</sup>、猿渡 浩<sup>2</sup>、



金蔵拓郎<sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 鹿児島大学皮膚科、<sup>2</sup> 鹿児島市)  
第 189 回日本皮膚科学会鹿児島地方会

2021 年 12 月 12 日 鹿児島

54) Atypical fibroxanthoma の 2 例

久留光博、宮内一成、野元裕輔、川平尚生、畠中美帆、指宿敦子、多田浩一、藤井一恭、  
東 裕子、金蔵拓郎 (鹿児島大学皮膚科)  
第 189 回日本皮膚科学会鹿児島地方会

2021 年 12 月 12 日 鹿児島

55) 左鼻翼部基底細胞癌に対して Shark island pedicle flap (SIPF) で再建した 1 例

久留光博、宮内一成、山筋好子、指宿敦子、多田浩一、藤井一恭、東 裕子、金蔵拓郎  
(鹿児島大学皮膚科)  
第 189 回日本皮膚科学会鹿児島地方会

2021 年 12 月 12 日 鹿児島

56) Nevus psiloliparus の 1 例

山筋好子<sup>1</sup>、馬場直子<sup>1</sup>、指宿敦子<sup>1</sup>、多田浩一<sup>1</sup>、藤井一恭<sup>1</sup>、東 裕子<sup>1</sup>、下川充芳<sup>2</sup>  
内田洋平<sup>2</sup>、金蔵拓郎<sup>1</sup> (鹿児島大学皮膚科、鹿児島市)  
第 189 回日本皮膚科学会鹿児島地方会

2021 年 12 月 12 日 鹿児島

57) 先天性示指爪甲形成不全症の 1 例

馬場直子、藤井一恭、東 裕子、金蔵拓郎 (鹿児島大学皮膚科)  
第 189 回日本皮膚科学会鹿児島地方会

2021 年 12 月 12 日 鹿児島

58) Annular Elastolytic Giant cell Granuloma (AEGCG) の 2 例

松岡温子<sup>1</sup>、馬場直子<sup>1</sup>、藤井一恭<sup>1</sup>、東 裕子<sup>1</sup>、内田洋平<sup>2</sup>、宇宿一成<sup>3</sup>、  
(<sup>1</sup> 鹿児島大学皮膚科、<sup>2</sup> 鹿児島市、<sup>3</sup> 指宿市)  
第 189 回日本皮膚科学会鹿児島地方会

2021 年 12 月 12 日 鹿児島

59) 当院におけるアトピー性皮膚炎患者に対するバリシチニブの使用経験

指宿敦子<sup>1</sup>、宮内一成<sup>1</sup>、吉崎 愛<sup>1</sup>、松岡温子<sup>1</sup>、川平尚生<sup>1</sup>、久留光博<sup>1</sup>、畠中美帆<sup>1</sup>、  
馬場直子<sup>1</sup>、多田浩一<sup>1</sup>、藤井一恭<sup>1</sup>、東 裕子<sup>1</sup>、島田辰彦<sup>2</sup>、西 正行<sup>3</sup>、宇宿一成<sup>4</sup>、  
金蔵拓郎<sup>1</sup> (<sup>1</sup> 鹿児島大学皮膚科、<sup>2</sup> 鹿児島市、<sup>3</sup> 始良市、<sup>4</sup> 指宿市)  
第 189 回日本皮膚科学会鹿児島地方会

2021 年 12 月 12 日 鹿児島

60) 移転後のいまきいれ総合病院のご紹介

有村亜希子 (いまきいれ総合病院皮膚科)  
第 189 回日本皮膚科学会鹿児島地方会

2021 年 12 月 12 日 鹿児島

61) 皮膚感染症との関連について

東 裕子 (鹿児島大学皮膚科)  
第 8 回西日本炎症性皮膚疾患治療研究会

2022 年 2 月 14 日 (Web 開催)

62) マクロゴールによるアナフィラキシーの 1 例

東 裕子、山筋好子、久留光博、宮内一成、藤井一恭、金蔵拓郎  
(鹿児島大学皮膚科)  
第 150 回日本皮膚科学会広島地方会

2022 年 2 月 26～27 日 広島

- 63) 血管内カテーテル治療後に生じた皮膚親水性ポリマー塞栓症の 1 例  
多田浩一、山筋好子、馬場直子、指宿敦子、藤井一恭、東 裕子、金蔵拓郎  
(鹿児島大学皮膚科)  
日本皮膚科学会 第 234 回熊本地方会

2022 年 3 月 12～13 日 熊本

#### 【国内・その他】

- 1) 〈挑戦者 (コメンテーター)〉病理の寺子屋シリーズ第 10 回 Dr.Iwatsuki への挑戦!  
「菌状息肉症における large cell transformation と続発性リンパ腫様丘疹症を考える」  
河井一浩 (新潟医療生活協同組合木戸病院皮膚科)  
株式会社ミノファーゲン製薬 WEB ライブセミナー

2021 年 8 月 6 日 (Web 開催)

- 2) 〈コメンテーター〉  
河井一浩 (木戸病院皮膚科)  
第 3 回関西皮膚リンパ腫症例検討会

2022 年 2 月 12 日新潟 (Web 開催)

## VI. 社会への貢献（マスメディア等）

### 【テレビ】

ナ シ

### 【ラジオ】

ナ シ

### 【新聞】

- 1) 乾癬に関わる遺伝子解明  
金蔵拓郎  
南日本新聞社 （2022年3月）

### 【その他のメディア】

ナ シ

## VII. 学会・講演会などの開催

### 【学会】

- 1) 第187回日本皮膚科学会鹿児島地方会・総会  
Web開催、城山ホテル鹿児島（ハイブリッド開催） 2021年4月18日
- 2) 第188回日本皮膚科学会鹿児島地方会  
Web開催、城山ホテル鹿児島（ハイブリッド開催） 2021年7月18日
- 3) 第189回日本皮膚科学会鹿児島地方会  
Web開催、城山ホテル鹿児島（ハイブリッド開催） 2021年12月12日

### 【学術講演会】

- 1) 小宮根 真弓（自治医科大学皮膚科学講座教授）  
「壊疽性膿皮症の病態と治療」  
（共催）日本皮膚科学会鹿児島地方会 エーザイ株式会社・アッヴィ合同会社  
2021年4月18日
- 2) 室田 浩之（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科教授）  
「アトピー性皮膚炎診療の潮流：最近の話題」  
（共催）日本皮膚科学会鹿児島地方会・日本イーライリリー株式会社  
2021年4月18日
- 3) 安田 正人（群馬大学大学院医学系研究科皮膚科学教授）  
「相対性で考える乾癬バイオ選択～ IL23？IL17？TNF $\alpha$ ？～」  
（共催）日本皮膚科学会鹿児島地方会・ヤンセンファーマ株式会社・大鵬薬品工業株式会社  
2021年7月18日
- 4) 山中 恵一（三重大学大学院医学系研究科教授）  
「尋常性乾癬治療におけるグセルクマブの可能性～ 実臨床から見てきたグセルクマブの患者像～」  
（共催）日本皮膚科学会鹿児島地方会・ヤンセンファーマ株式会社・大鵬薬品工業株式会社  
2021年7月18日
- 5) 馬屋原 孝恒（岡山赤十字病院皮膚科部長）  
「炎症に応じた乾癬バイオ&JAKiの選択肢」  
（共催）日本皮膚科学会鹿児島地方会・サンファーマ株式会社  
2021年12月12日

## VIII. 学会活動

### <金蔵拓郎>

- ・ 日本研究皮膚科学会（理事）
- ・ 鹿児島膠原病研究会（世話人）
- ・ 日本皮膚科学会（雑誌委員・西部支部運営委員会・代議員・西部支部学術委員）
- ・ 米国研究皮膚科学会
- ・ 日本生化学会
- ・ 日本免疫学会
- ・ 日本癌学会
- ・ 日本アレルギー学会
- ・ 日本リウマチ学会
- ・ 日本形成外科学会九州地方会
- ・ 日本リンパ網内系学会
- ・ 日本熱傷学会九州地方会
- ・ 鹿児島異種移植研究会（世話人）
- ・ 日本乾癬学会（理事）
- ・ 日本アフェレシス学会（評議員）
- ・ 鹿児島アレルギー懇話会（世話人）
- ・ 皮膚脈管・膠原病研究会（世話人）
- ・ 南九州腫瘍研究会（世話人）
- ・ 日本皮膚悪性腫瘍学会（理事）
- ・ 鹿児島県性感染症研究会（世話人）
- ・ 鹿児島地区皮膚疾患病態治療研究会（代表世話人）
- ・ 鹿児島皮膚アレルギー研究会（代表世話人）
- ・ 鹿児島皮膚疾患の治療を語る会（代表世話人）
- ・ 鹿児島救急医学会（評議員）
- ・ The Open Dermatology Journal, Editorial Board Member
- ・ 第 10 回日中合同皮膚科学術会議組織委員
- ・ 表皮細胞研究会（監事）
- ・ 日本褥瘡学会九州地方会（世話人）
- ・ 日本皮膚アレルギー・接触皮膚炎学会（評議員）
- ・ Journal of Dermatological Science, Editorial Board
- ・ 日本皮膚科学会膿疱性乾癬診療ガイドライン改定委員会委員
- ・ 日本アフェレシス学会雑誌編集委員
- ・ 日本研究皮膚科学会推薦委員
- ・ 第 18 回国際ヒトレトロウイルス HTLV 会議組織委員
- ・ 第 42 回 JSID Abstract 査読

### <東 裕子>

- ・ キャリア支援委員会委員
- ・ 日本皮膚科学会西部支部（代議員）
- ・ 日本研究皮膚科学会（評議員・ダイバーシティ委員会委員）
- ・ 働き方改革 WG 委員（日本皮膚科学会）

<藤井一恭>

- ・ 日本研究皮膚科学会（評議員）
- ・ 九州真菌懇話会（施設幹事）
- ・ 日本電気泳動学会（評議員）
- ・ 皮膚悪性腫瘍学会（評議員・皮膚がん予後統計委員会委員）
- ・ 日本癌治療学会・協力委員
- ・ 第71回日本電気泳動学会シンポジウム世話人
- ・ 第2回九州皮膚リンパ腫検討会 事務局

<河井一浩>

- ・ 日本皮膚科学会
- ・ 日本研究皮膚科学会（評議員）
- ・ 日本皮膚悪性腫瘍学会（評議員）
- ・ 日本免疫学会
- ・ The Society for Investigative Dermatology
- ・ International Society for Cutaneous Lymphomas
- ・ 日本臨床皮膚科医会
- ・ The American Association of Immunologists
- ・ 日本皮膚免疫アレルギー学会（代議員・監事）
- ・ J.Dermatol. (Section Editor)

## IX. Journal Review

### <金蔵拓郎>

- ・日本アフェレンス学会雑誌 / Ageing Reserch Reviewsl. / TODJ. (2 編) / Ther Apher Dial. / J. Dermatol /

### <東 裕子>

- ・ J. Dermatol. (7 編) / Ther Apher Dial / 日本皮膚科学会雑誌 / 西日本皮膚科

### <藤井一恭>

- ・ Eur. J. Dermatol. / J. Dermatol. (6 編) / J. Cutan. Immunol. Allergy. / Dermatologic therapy/ Cells / Expert Opinion On Emerging Drugs / 電気泳動

### <河井一浩>

- ・ BMJ Case Rep. / J. Dermatol. (58 編) / J. Invest. Dematol / Int. J. Dermatol.

## X. 学内活動

### <金蔵拓郎>

- ・ 医学部共同利用研究棟運営委員
- ・ 教員の評価に関する制度検討委員会委員
- ・ 研究フォーラム・インフォメーションオフィスメンバー
- ・ セカンドオピニオン外来担当医
- ・ 卒後臨床研修部研修管理委員会委員
- ・ 感覚器センター長
- ・ 学位審査委員 (副査・1 件)
- ・ 鹿児島大学における軍事的安全保障研究とみなされる可能性のある研究等に関する審査委員会医員

## XI. 学生講義

### <金蔵拓郎>

- ・【医学部】[膠原病の皮膚症状 (2021.4.8 : M4) ]
- ・【医学部】[炎症性皮膚疾患 (2021.7.15 : M3) ]
- ・【宮崎大学講義】[皮膚症状からみる膠原病 (2021.12.24 : M3) ]

### <東 裕子>

- ・【共通教育】[がんはなぜおこるのか (2021.5.6) ]
- ・【医学部】[水疱症、角化症 (2021.7.13 : M3) ]
- ・【医学部】[総合講義 (2021.8.25 : M6) ]
- ・【医学部】[領域別試験監督 (2021.9.30 : M6) ]
- ・【医学部】[感染症 (2020.1.19 : M3) ]

### <藤井一恭>

- ・【医学部】[皮膚悪性腫瘍 (2021.7.13 : M4) ]
- ・【医学部】[皮膚の悪性リンパ腫 (2021.12.22 : M3) ]

### <多田浩一>

- ・【歯学部】[水疱症、ベーチェット病 (2021.5.31 : M5) ]
- ・【医学部】[母斑、母斑症、血管腫、皮膚良性腫瘍 (2021.7.16 : M3) ]
- ・OSCE (2019.9.7)
- ・【看護】[総論 (2021.11.2 : M2) ]

### <指宿敦子>

- ・【歯学部】[皮膚の構造・機能 先天性疾患 (2021.5.17 : M5) ]
- ・【歯学部】[アレルギー疾患、皮膚テスト (2021.5.24 : M5) ]
- ・OSCE (2021.9.3)

### <島中美帆>

- ・【医学部】[縫合実習 手技 (2021.9.16 : M4) ]
- ・OSCE (2021.10.5)
- ・【看護】[各論 II (2021.11.30 : M2) ]

### <馬場直子>

- ・【歯学部】[腫瘍性疾患 (2021.6.14 : M5) ]
- ・【医学部】[発疹学・検査 (2021.7.16 : M3) ]
- ・【医学部】[縫合実習・手技 (2021.9.24 : M3) ]
- ・【看護】[各論 I (2021.11.9 : M2) ]

### <久留光博>

- ・【歯学部】[膠原病、感染症 (2021.6.7 : M5) ]
- ・【医学部】[皮膚の構造・機能 (2021.7.13 : M3) ]
- ・OSCE (2021.9.7)



<山筋好子>

- ・【医学部】【縫合実習 講義 (2021.9.9 : M4) ]
- ・【医学部】領域別[試験監督 (2021.9.30 : M6) ]

<宮内一成>

- ・【医学部】[成人看護学-皮膚 (前半) (2021.6.24 : M1)
- ・【医学部】[成人看護学-皮膚 (後半) (2021.7.2 : M1)

<吉崎 愛>

- ・【鹿児島医療技術専門学校】[皮膚科全般 1/3 (2021.6.3 : M2) ]
- ・【鹿児島医療技術専門学校】[皮膚科全般 2/3 (2021.6.10 : M2) ]
- ・【鹿児島医療技術専門学校】[皮膚科全般 3/3 (2021.6.17 : M2) ]
- ・【医学部】[感染症チュートリアル (2021.12.10 : M4) ]
- ・【医学部】[感染症チュートリアル (2021.12.13 : M4) ]

<河井一浩>

- ・【医学部】[湿疹・皮膚炎 (2021.7.19 : M3) ]

## XII. 社会活動

### <金蔵拓郎>

- ・ 鹿児島県感染症発生動向調査企画委員
- ・ 鹿児島県特定疾患認定委員
- ・ 最高裁判所専門委員
- ・ 鹿児島県 ATL 制圧委員会研究推進部会委員
- ・ 大阪地方裁判所損害賠償請求事件鑑定人
- ・ 本格焼酎部会会員
- ・ 焼酎発酵副産物研究会会員
- ・ 福岡地方裁判所平成 19 年（ワ）第 309 号 損害賠償請求事件専門委員
- ・ 鹿児島県医師会評議員
- ・ 財団法人親和会評議員
- ・ 鹿児島大学医学部創立 70 周年・西洋医学開講 150 周年記念事業実行委員長
- ・ カネミ油症検診
- ・ 鹿児島大学医学部医師会理事
- ・ 鹿児島県アレルギー疾患医療連絡協議会委員
- ・ 日本医療安全調査機構「医療事故調査・支援センター推薦・担当者」

### XIII. 文部省科学省科学研究費等取得

- 1) 『CD147/basigin を標的とした乾癬の新規治療の開発』  
金蔵拓郎（代表）基盤研究（C）：403 万円
- 2) 『HDAC 阻害剤によるチロシンキナーゼの活性化と CTCL の新規治療への応用』  
藤井一恭（代表）基盤研究（C）：429 万円
- 3) 『円形脱毛症における AGEs（終末糖化産物）の毛包ストレス-T 細胞応答への寄与解明』  
内田洋平（代表）若手研究：429 万円
- 4) 「溶岩、凝灰石のプラズマコーティング腫による金属アレルギー予防効果に関する研究」  
公益財団法人サンケイ科学振興財団研究助成金

### XIV. 特 許

ナ シ

### XV. 受 賞

ナ シ

### XVI. 学位取得者

ナ シ

### XVII. 専門医取得者

久留 光博

## XVIII. 教室員の動向

【教 授】 金蔵拓郎

【准教授】 東 裕子

【診療准教授】 藤井一恭

【診療講師】 多田浩一

【助 教】 指宿敦子 畠中美帆 (2022.3 迄) 馬場直子  
久留光博 (2021.7～2022.3 迄)

【医 員】 山筋好子 川平尚生 松岡温子 (2021.7～)  
宮内一成 吉崎 愛

【大学院生】 山筋好子 野元裕輔 大久保 葵

【部内研究生】 な し

【部外研究生】 寺崎祐太郎

【研修登録医】 な し

【客員研究員】 河井一浩 内田洋平

【医 局 長】 多田浩一

【病棟医長】 指宿敦子

【外来医長】 馬場直子

【出 向 者】 有村亜希子 : いまきれ総合病院 三好逸男 : キラメキラス ヘルスケアホスピタル  
馬場淳徳 : 鹿児島市立病院 山田きよ子 : 鹿児島市立病院 (2022.1～)  
野元祐輔 : 鹿児島県立大島病院 上塘葉子 : 今村総合病院

【外国留学】 な し

【国内留学】 な し

【外国人留学生】 な し

【外国人帰国者】 な し

【退局者】 畠中美帆

久留光博

【退職者】 なし

【新規就職者】 吉崎 愛

【出差・育児休暇・休職】 山田きよ子 (2021.12迄)  
大久保 葵 (2021.6～)

勝江浩未 (2021.3～)